

岡山連携中枢都市圏ビジョン

～つながり、創造する。

躍動！岡山都市圏～

平成 29 年（2017 年）3 月

岡 山 市

岡山連携中枢都市圏ビジョン

目次

I.	連携中枢都市圏の形成に向けて	1
1.	本ビジョン策定の趣旨.....	1
2.	連携中枢都市圏及び構成市町の名称.....	1
3.	取組の期間.....	2
4.	推進体制.....	2
II.	岡山連携中枢都市圏の中長期的な将来像	3
1.	岡山連携中枢都市圏の現状等.....	3
2.	岡山連携中枢都市圏の将来展望.....	28
3.	岡山連携中枢都市圏の施策体系.....	31
III.	連携協約に基づき推進する具体的取組	33
1.	圏域全体の経済成長のけん引.....	33
2.	高次の都市機能の集積・強化.....	43
3.	圏域全体の生活関連機能サービスの向上.....	52

1. 連携中枢都市圏の形成に向けて

1. 本ビジョン策定の趣旨

我が国では、人口減少・少子高齢社会が到来し、生活圏・経済圏が拡大しつつある中、岡山連携中枢都市圏においても、将来人口は2010年の約117万人から30年間で16%減少し、2040年には100万人を下回ることが推計されており、そうした状況下にあっても、活力ある地域経済・社会を形成するとともに、住民サービスを維持するために、圏域市町がより深くつながり、一体的に取り組むことが一層重要になっている。

こうした中、岡山市を中心とする8市5町は、平成27年8月20日に首長で組織する「岡山都市圏連携協議会」を設置し、それぞれの地域が持つ強みや資源をいかし、地域と地域を結びつけ、人・モノ・情報が対流する圏域の形成に向けての協議を重ね、平成28年8月9日には、岡山市が「連携中枢都市宣言」を行い、同年10月11日には、岡山市と連携する各市町との間で「連携中枢都市圏形成に係る連携協約」を締結した。

岡山連携中枢都市圏では、岡山市と連携市町とのつながりを有機的かつ友好的に結んできた歴史・文化を背景として、そうしたつながりや圏域の特長を最大限にいかし、活力と魅力あふれる圏域づくりに向けた取組を計画的に推進するため、本ビジョンを策定する。

2. 連携中枢都市圏及び構成市町の名称

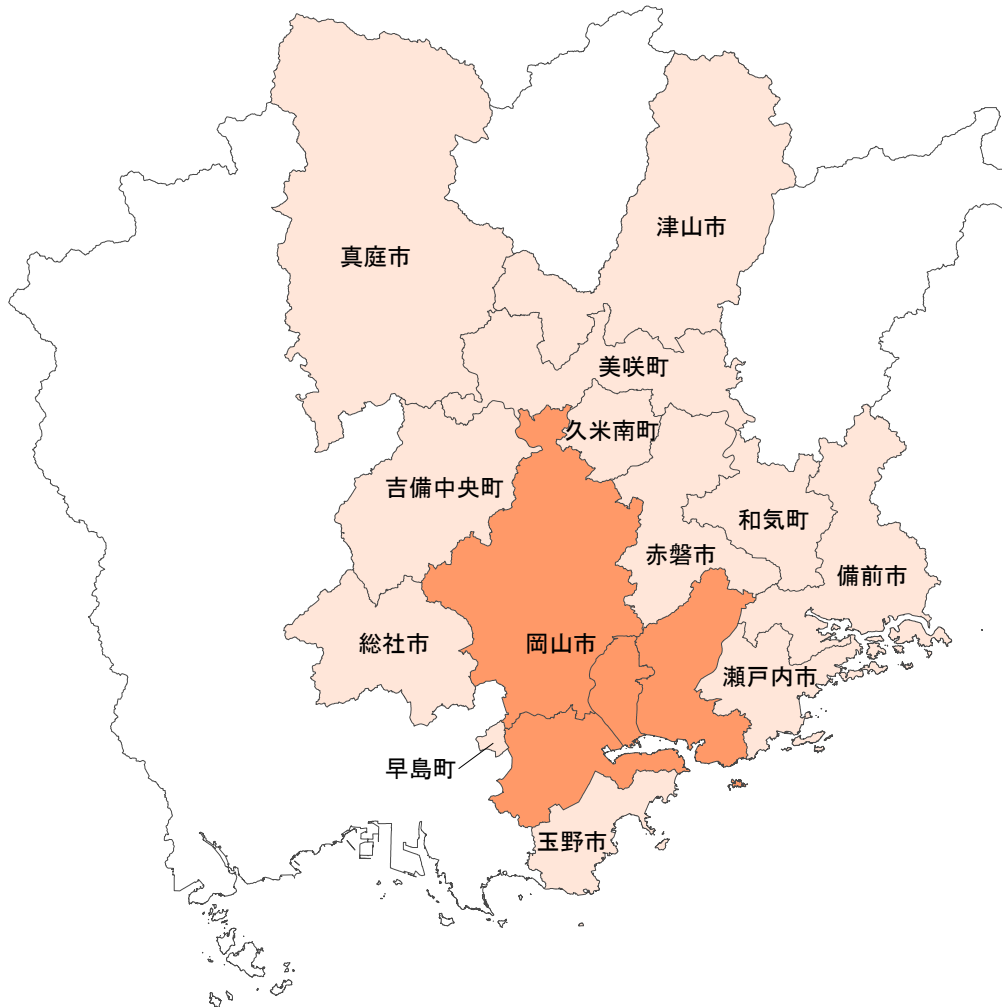
(1) 連携中枢都市圏の名称

岡山連携中枢都市圏

(2) 圏域を構成する市町の名称

岡山市、津山市、玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市
和気町、早島町、久米南町、美咲町、吉備中央町

図表 1 岡山連携中枢都市圏



3. 取組の期間

平成 29 年（2017 年）4 月から平成 34 年（2022 年）3 月までの 5 年間

4. 推進体制

本ビジョンを着実に推進するため、毎年度、岡山都市圏連携協議会を開催し、事務事業に関する連絡・調整を行うとともに、事務事業内容の見直しを行い、必要に応じて変更を行う。

また、事務事業の具体的内容や進捗状況については、外部有識者等で構成する連携中枢都市圏ビジョン懇談会の意見・提案を踏まえて検証・協議を行い、連携取組の充実を図るものとする。

II. 岡山連携中枢都市圏の中長期的な将来像

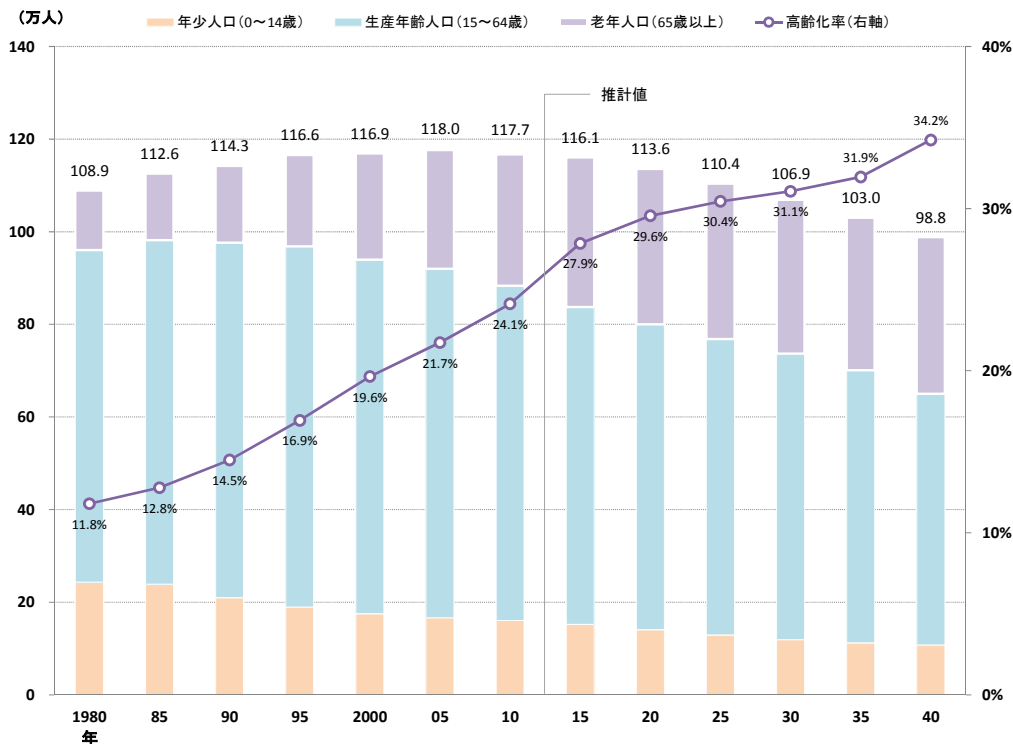
1. 岡山連携中枢都市圏の現状等

(1) 人口

① 人口及び高齢化率

- 圏域の人口は、国勢調査で見ると 1980 年の 108.9 万人から 2005 年の 118.0 万人まで増加を続け、2010 年からは減少に転じている。国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、今後も人口減少が続くことが予想され、2040 年には 98.8 万人となる見通しである。なお、2015 年については、同年実施の国勢調査では 117.0 万人であった。
- 人口構造は、生産年齢人口が 1995 年をピークに減少、年少人口は長期的に減少傾向にある。一方で、老年人口の増加は続いており、高齢化率は今後も上昇することが見込まれる。

図表 2 圏域の人口と高齢化率の推移（社人研推計含む）
（年少・生産年齢・老年人口別含む）



(注1) 2015年以降の推計値については、端数処理の関係により各市町策定の人口ビジョンの合計とは数値が異なる場合がある。

資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

図表 3 圏域市町別の人口・高齢化率の推移（社人研推計含む）

単位：総人口（人）、高齢化率（％）

市町		2010年	2020年	2030年	2040年	10～40年 増減
岡山市	総人口	709,584	708,099	685,911	651,328	-8.2%
	(高齢化率)	(21.3)	(26.4)	(28.2)	(32.0)	10.7
津山市	総人口	106,788	98,573	89,449	79,874	-25.2%
	(高齢化率)	(25.5)	(31.3)	(33.5)	(36.6)	11.1
玉野市	総人口	64,588	58,469	51,201	43,571	-32.5%
	(高齢化率)	(29.7)	(37.7)	(38.7)	(41.1)	11.4
総社市	総人口	66,201	63,552	59,471	54,408	-17.8%
	(高齢化率)	(23.5)	(29.8)	(31.6)	(34.4)	11.0
備前市	総人口	37,839	32,911	27,765	22,851	-39.6%
	(高齢化率)	(31.5)	(38.6)	(40.5)	(43.2)	11.7
瀬戸内市	総人口	37,852	34,615	30,930	27,053	-28.5%
	(高齢化率)	(28.6)	(34.8)	(37.1)	(40.9)	12.3
赤磐市	総人口	43,458	41,158	37,824	34,010	-21.7%
	(高齢化率)	(26.4)	(34.0)	(35.2)	(36.7)	10.3
真庭市	総人口	48,964	43,166	37,570	32,487	-33.7%
	(高齢化率)	(33.6)	(39.6)	(41.2)	(41.2)	7.6
和気町	総人口	15,362	13,545	11,659	9,821	-36.1%
	(高齢化率)	(33.1)	(40.1)	(41.0)	(43.8)	10.7
早島町	総人口	12,214	12,395	12,129	11,702	-4.2%
	(高齢化率)	(22.9)	(28.1)	(27.4)	(30.2)	7.2
久米南町	総人口	5,296	4,527	3,813	3,197	-39.6%
	(高齢化率)	(38.2)	(44.3)	(45.6)	(44.7)	6.5
美咲町	総人口	15,642	13,566	11,606	9,879	-36.8%
	(高齢化率)	(35.3)	(40.2)	(40.4)	(41.4)	6.1
吉備中央町	総人口	13,033	11,134	9,490	8,073	-38.1%
	(高齢化率)	(36.7)	(41.8)	(43.8)	(44.6)	7.9
圏域合計	総人口	1,176,821	1,135,710	1,068,818	988,254	-16.0%
	(高齢化率)	(24.1)	(29.6)	(31.1)	(34.2)	10.1

(注1) 2020年以降の推計値は、端数処理の関係により各市町策定の人口ビジョンとは数値が異なる場合がある。

(注2) 「10～40年の増減」は、総人口については増減率、高齢化率については増減ポイントを表す。

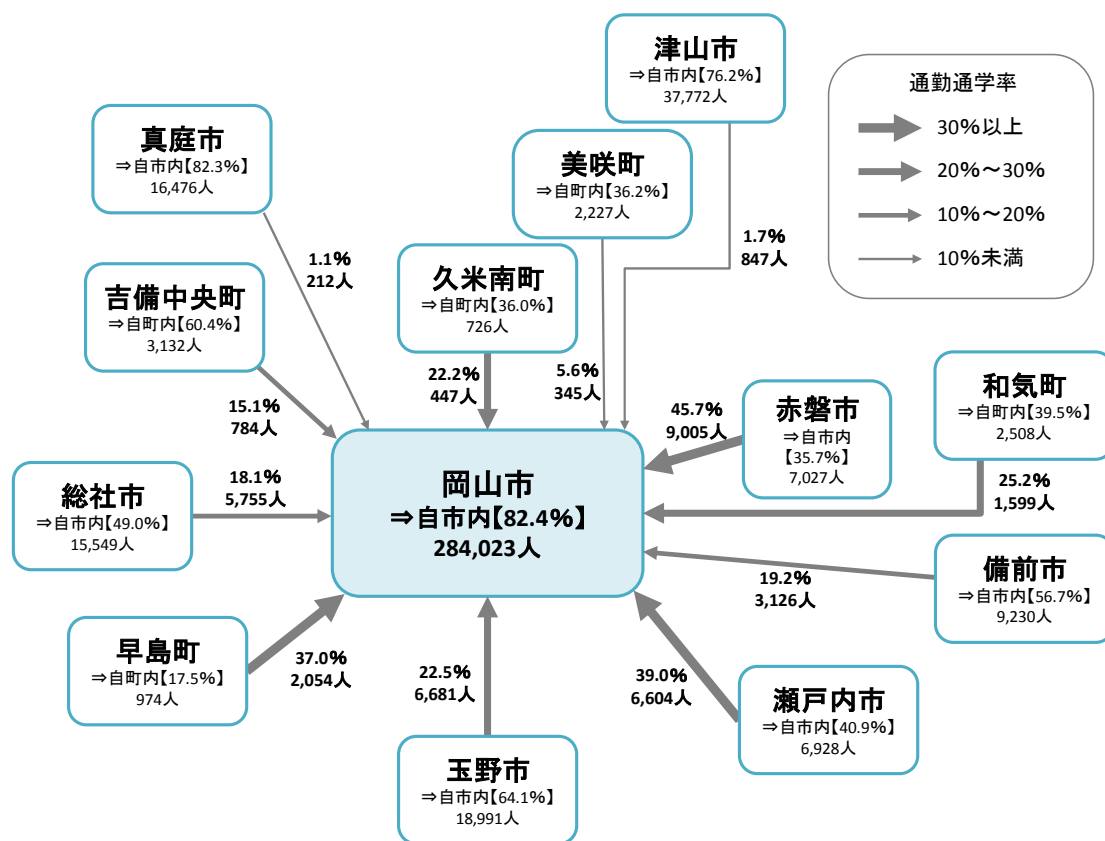
資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

② 人口の移動

(ア) 日常の人口移動（通勤通学の状況）

- 岡山市に常住する就業者・通学者は約 36 万人であり、そのうち 82.4%が市内へ通勤・通学し、残り約 2 割程度は市外へ通勤・通学している。
- 岡山市に対する通勤通学の割合が 10%以上である圏域の市町は、玉野市（22.5%）、総社市（18.1%）、備前市（19.2%）、瀬戸内市（39.0%）、赤磐市（45.7%）、和気町（25.2%）、早島町（37.0%）、久米南町（22.2%）、吉備中央町（15.1%）である。

図表 4 圏域市町から岡山市への通勤通学割合（2010 年）



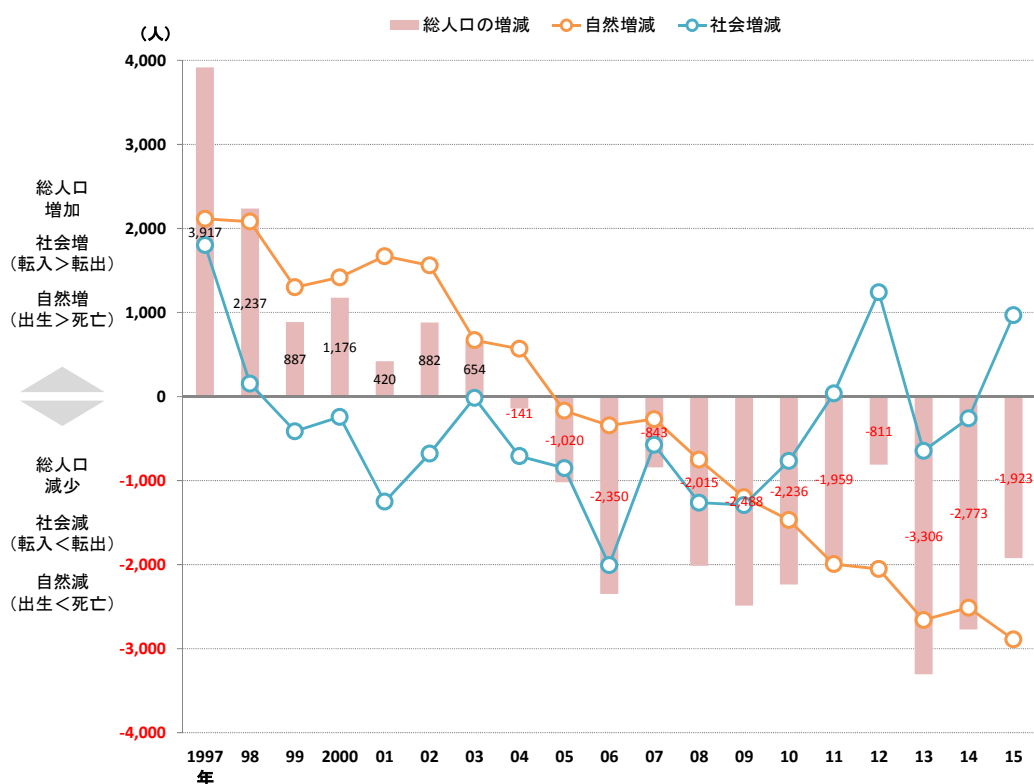
(注1) 通勤通学率：ある市町に居住する就業者・就学者（自宅で就業する者は除く）のうち、自市町から他地域に通勤通学している者の割合を指す。

資料：総務省「国勢調査」

(イ)人口動態

- 圏域の人口動態をみると、自然動態は2005年以降自然減が続いており、年々減少幅は拡大している。一方、社会動態は、2000年代は人口の流出傾向が強く社会減であったが、2010年代に入り持ち直しの傾向がみられ、2011年、2012年、2015年は社会増となっている。

図表 5 圏域の人口動態（自然動態・社会動態）の推移



(注1) 各年10月1日時点のデータである（前年の10月1日から当年9月30日までの住民基本台帳の記載又は削除のデータを集計したもの）。

資料：岡山県「岡山県毎月流動人口調査（年報）」

図表 6 圏域市町別の人口動態（2015 年）

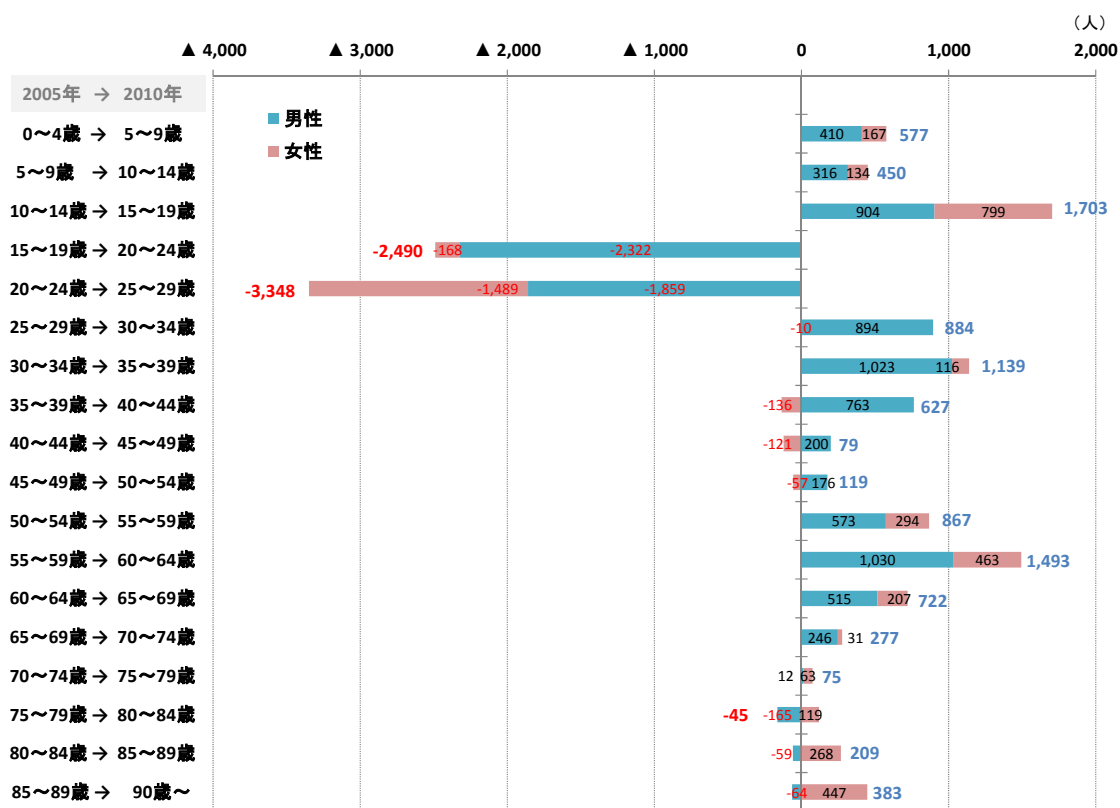
単位：人

地域	自然動態			社会動態			人口増減
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減	
岡山市	6,605	6,634	-29	27,081	25,224	1,857	1,828
津山市	887	1,389	-502	3,228	3,510	-282	-784
玉野市	395	876	-481	1,467	1,944	-477	-958
総社市	544	716	-172	2,458	2,157	301	129
備前市	215	545	-330	1,189	1,314	-125	-455
瀬戸内市	220	437	-217	1,672	1,624	48	-169
赤磐市	307	488	-181	1,446	1,326	120	-61
真庭市	324	777	-453	915	1,139	-224	-677
和気町	69	227	-158	381	475	-94	-252
早島町	125	102	23	474	497	-23	0
久米南町	23	98	-75	144	145	-1	-76
美咲町	98	251	-153	387	473	-86	-239
吉備中央町	73	236	-163	488	534	-46	-209
圏域全体	9,885	12,776	-2,891	41,330	40,362	968	-1,923

(注1) 2015年10月1日時点のデータである(2014年10月1日から2015年9月30日までの住民基本台帳の記載又は削除のデータを集計したもの)。

資料：岡山県「岡山県毎月流動人口調査(年報)」

図表 7 圏域の年齢（5 歳階級）別人口移動の状況（2005 年→2010 年）



(注1) 2005年にある年齢階級であった人口（例：0～4歳人口）が、5年後の2010年の年齢階級の人口（例：5～9歳人口）になったときに、どの程度の増減があったかを示したもの。

資料：総務省「国勢調査」

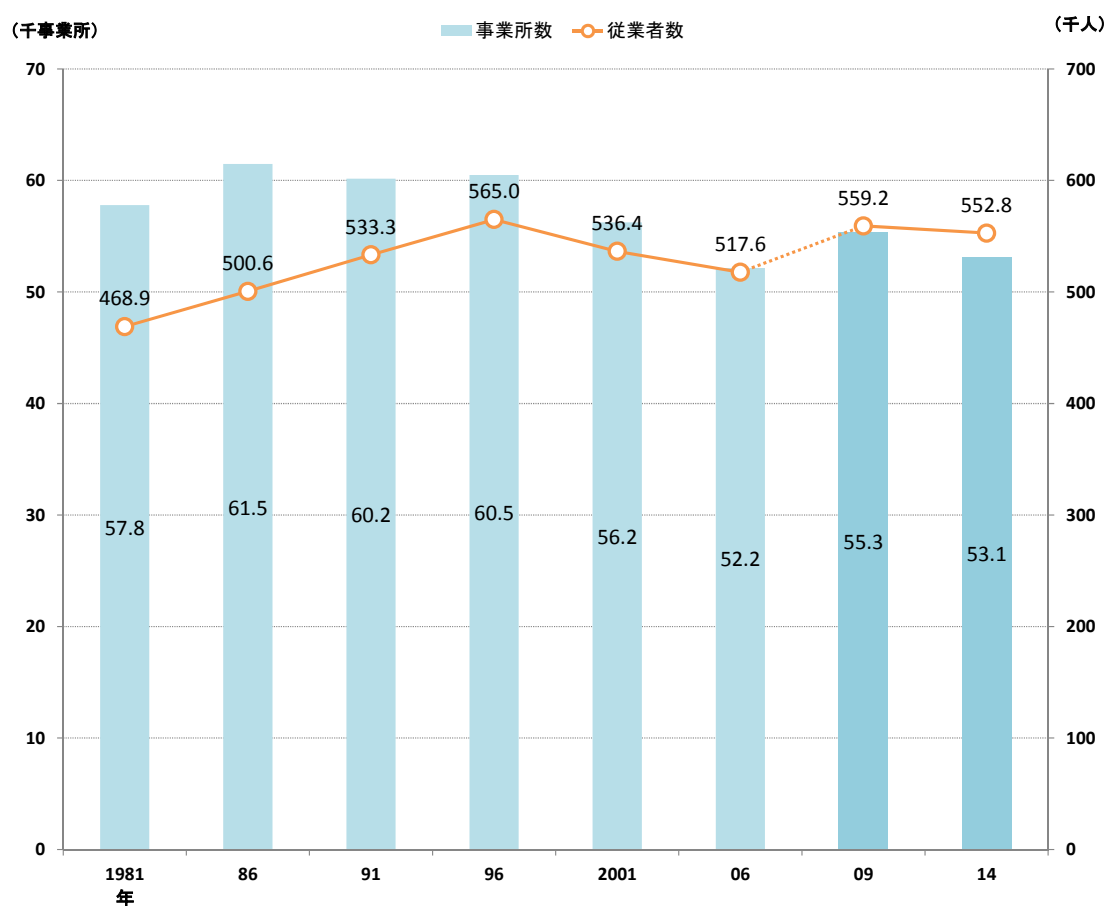
(2) 産業構造

① 事業所数及び従業者数

(ア) 事業所数及び従業者数

- 圏域の事業所数及び従業者数は 1990 年代を境に減少傾向にある。
- 圏域の事業所数は 5.3 万事業所、従業者数は 55.3 万人である。市町別では事業所・従業者ともに 60%以上を岡山市が占めている。
- 産業別には、第 1 次産業では、岡山市・津山市・真庭市、第 2 次産業では岡山市・津山市・玉野市・総社市・備前市・真庭市に一定の集積がみられる。第 3 次産業は岡山市に集中している。

図表 8 圏域の事業所数・従業者数の推移



(注 1) 「企業・事業所統計」(1981～2006 年)と「経済センサス基礎調査」(2009～2014 年)は調査方法が異なるため、数値は直接接続しない。

(注 2) 上記事業所数・従業者数には公務が含まれており、次ページの産業別事業所数・従業者数の総数とは一致しない。

資料：総務省「企業・事業所統計」、総務省・経済産業省「経済センサス基礎調査」

図表 9 圏域市町別の産業別事業所数・従業者数及び割合（2014年）

（単位：事業所，%）

地域	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	
	事業所数	（構成比）	事業所数	（構成比）	事業所数	（構成比）	事業所数	（構成比）
岡山市	115	(36.3)	4,832	(53.2)	27,913	(64.5)	32,860	(62.4)
津山市	42	(13.2)	906	(10.0)	4,361	(10.1)	5,309	(10.1)
玉野市	11	(3.5)	516	(5.7)	2,022	(4.7)	2,549	(4.8)
総社市	10	(3.2)	436	(4.8)	1,700	(3.9)	2,146	(4.1)
備前市	15	(4.7)	469	(5.2)	1,445	(3.3)	1,929	(3.7)
瀬戸内市	15	(4.7)	336	(3.7)	997	(2.3)	1,348	(2.6)
赤磐市	13	(4.1)	341	(3.8)	1,047	(2.4)	1,401	(2.7)
真庭市	51	(16.1)	630	(6.9)	2,010	(4.6)	2,691	(5.1)
和気町	7	(2.2)	175	(1.9)	430	(1.0)	612	(1.2)
早島町	1	(0.3)	92	(1.0)	393	(0.9)	486	(0.9)
久米南町	7	(2.2)	48	(0.5)	159	(0.4)	214	(0.4)
美咲町	7	(2.2)	169	(1.9)	388	(0.9)	564	(1.1)
吉備中央町	23	(7.3)	134	(1.5)	417	(1.0)	574	(1.1)
圏域全体	317	(100.0)	9,084	(100.0)	43,282	(100.0)	52,683	(100.0)

（単位：人，%）

地域	第1次産業		第2次産業		第3次産業		合計	
	従業者数	（構成比）	従業者数	（構成比）	従業者数	（構成比）	従業者数	（構成比）
岡山市	1,289	(37.6)	61,021	(50.7)	288,339	(69.8)	350,649	(65.3)
津山市	435	(12.7)	10,306	(8.6)	37,585	(9.1)	48,326	(9.0)
玉野市	99	(2.9)	9,308	(7.7)	15,504	(3.8)	24,911	(4.6)
総社市	84	(2.4)	9,558	(7.9)	14,207	(3.4)	23,849	(4.4)
備前市	73	(2.1)	7,129	(5.9)	10,623	(2.6)	17,825	(3.3)
瀬戸内市	438	(12.8)	5,488	(4.6)	9,501	(2.3)	15,427	(2.9)
赤磐市	145	(4.2)	4,728	(3.9)	8,455	(2.0)	13,328	(2.5)
真庭市	394	(11.5)	6,507	(5.4)	12,909	(3.1)	19,810	(3.7)
和気町	135	(3.9)	1,505	(1.2)	3,347	(0.8)	4,987	(0.9)
早島町	8	(0.2)	719	(0.6)	5,595	(1.4)	6,322	(1.2)
久米南町	47	(1.4)	518	(0.4)	1,078	(0.3)	1,643	(0.3)
美咲町	166	(4.8)	1,750	(1.5)	2,926	(0.7)	4,842	(0.9)
吉備中央町	117	(3.4)	1,914	(1.6)	2,993	(0.7)	5,024	(0.9)
圏域全体	3,430	(100.0)	120,451	(100.0)	413,062	(100.0)	536,943	(100.0)

（注1） 公務は上記の集計に含まれていない。また、第1次産業には個人経営体を含んでいない。第3次産業のうち、家事サービス業に関する事業所及び外国公務に属する事業所は調査の対象外である。

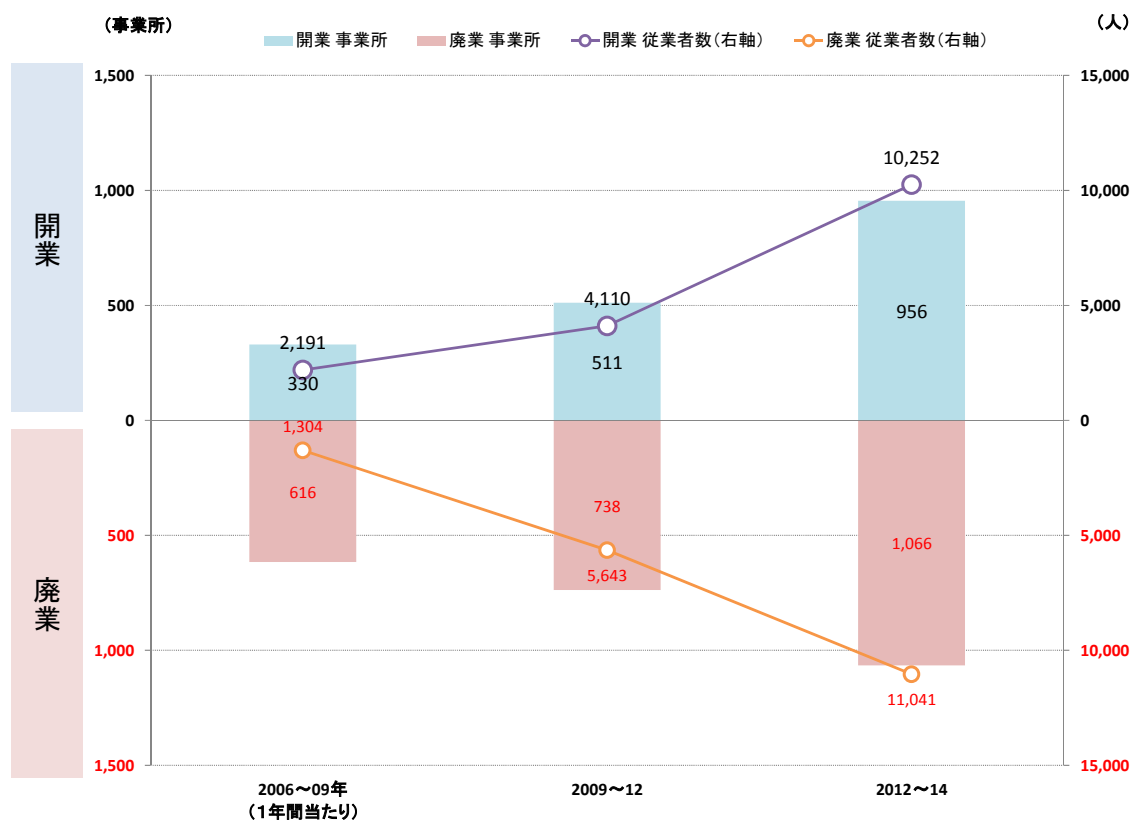
（注2） 四捨五入の関係で各市町の構成比の合計が、圏域全体の値（100%）と一致しない場合がある。

資料：総務省・経済産業省「経済センサス基礎調査」

(イ)開業数・廃業数

- 圏域の開業事業所数（単独事業所及び本所）は増加傾向にあり、これら開業事業所で働く従業者数も増加傾向にある。ただし、廃業事業所数及び廃業事業所の従業者数も増加しており、2012年～2014年にかけてはほぼ開業・廃業事業者数は均衡している。

図表 10 圏域の開廃業数の推移



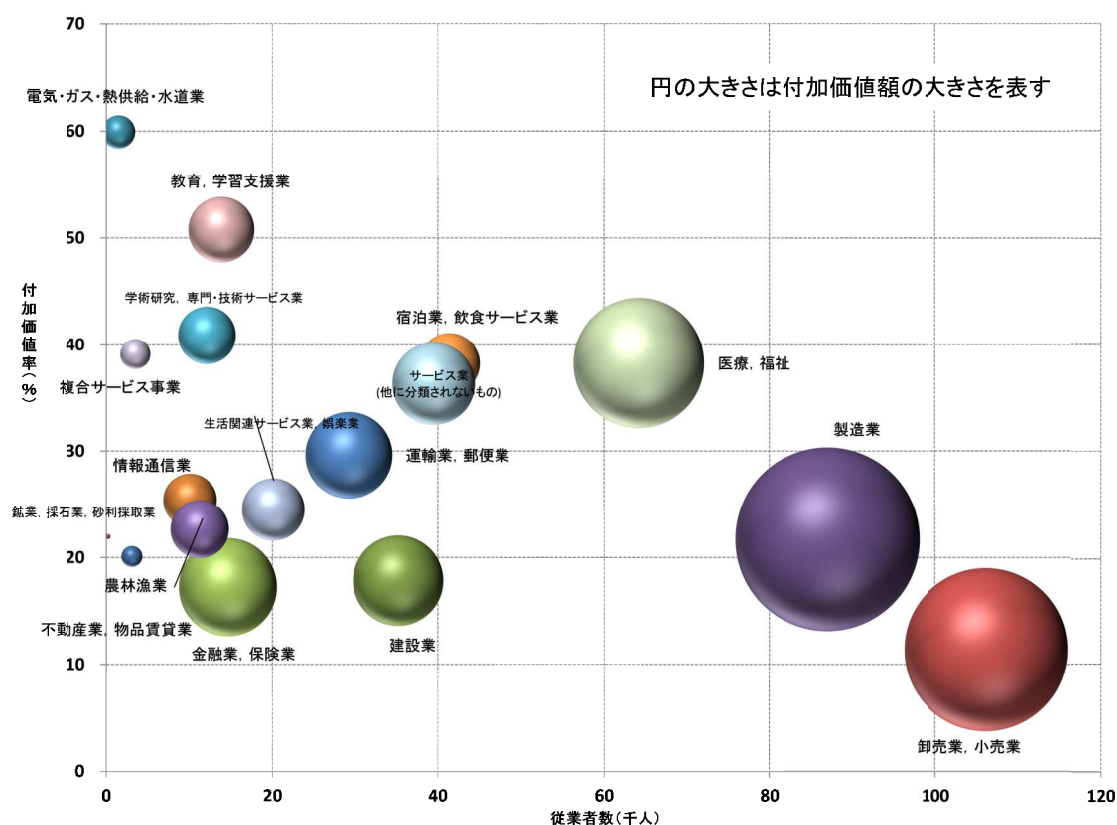
資料：総務省・経済産業省「経済センサス基礎調査」「経済センサス活動調査」

② 総生産

(ア) 産業の構成

- 圏域の従業者数・付加価値額をみると、「卸売・小売業」「医療・福祉」「製造業」が大きな産業となっている。
- 産業の特性として「卸売・小売業」「医療・福祉」は典型的な域内市場産業であるため、域内の人口動向に左右されるが、域外から外貨を獲得する産業としては、主に域外を市場とする（もしくは域外からの資金で仕事が発生する）「製造業」「観光業（宿泊業・飲食サービス業）」があり、圏域の経済成長にとって重要な産業といえる。

図表 11 圏域の産業の雇用吸引力・稼ぐ力（付加価値率・民営事業所）（2012年）



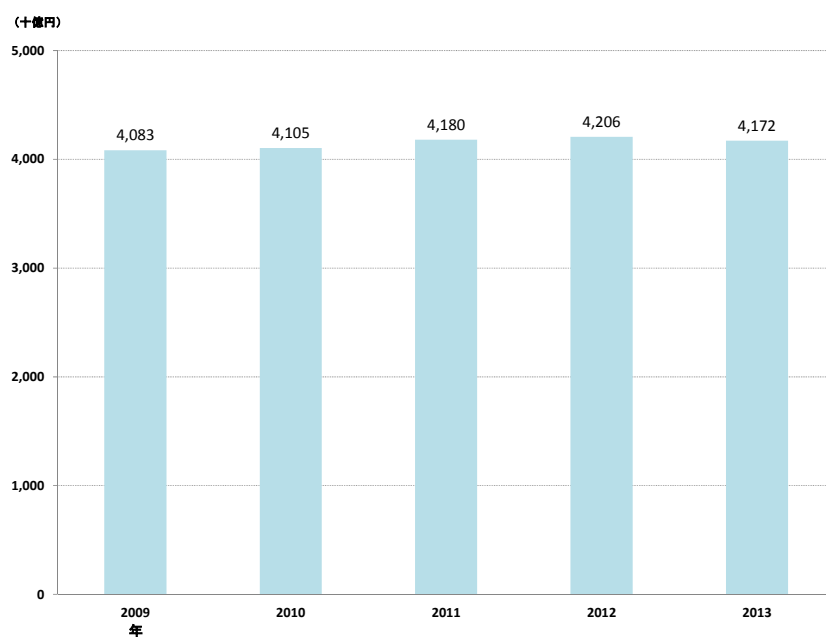
- (注1) 民営事業所を調査対象としているため、個人事業主の多い農林漁業の値が小さくなる傾向がある。
- (注2) 付加価値額は、企業の生産活動によって新たに生み出された価値のことであり、「売上高」から「費用総額」を引いた額に、「給与総額」と「租税公課」を加えたもの。地域内にどの程度の付加価値額が発生したかを把握することは、地域の経済力を図る重要な指標となる。付加価値率は、「付加価値額」を「売上高」で除したものであり、売上のうちどの程度が地域経済に貢献しているかを図る指標となる。
- (注3) 「従業者数」が多いほど雇用吸引力が高い、「付加価値額」が大きい(円が大きい)、もしくは「付加価値率」が高いほど稼ぐ力が高いといえる。

資料：総務省・経済産業省「経済センサス活動調査」

(イ) 圏域内総生産

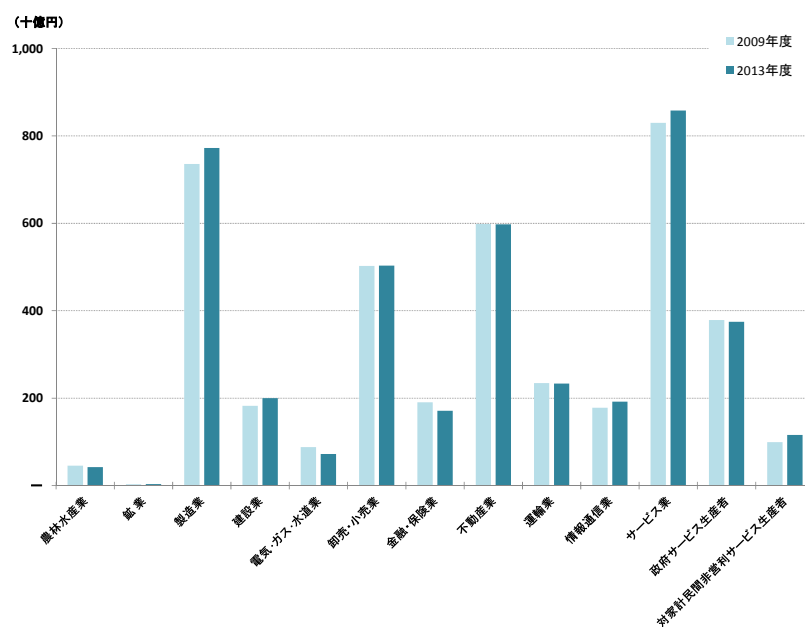
- 圏域の総生産は年間約 4 兆円であり、2009～2012 年にかけては若干ではあるが増加傾向で推移しており、業種別には、製造業・サービス業の生産額が伸びている。

図表 12 圏域の総生産の推移



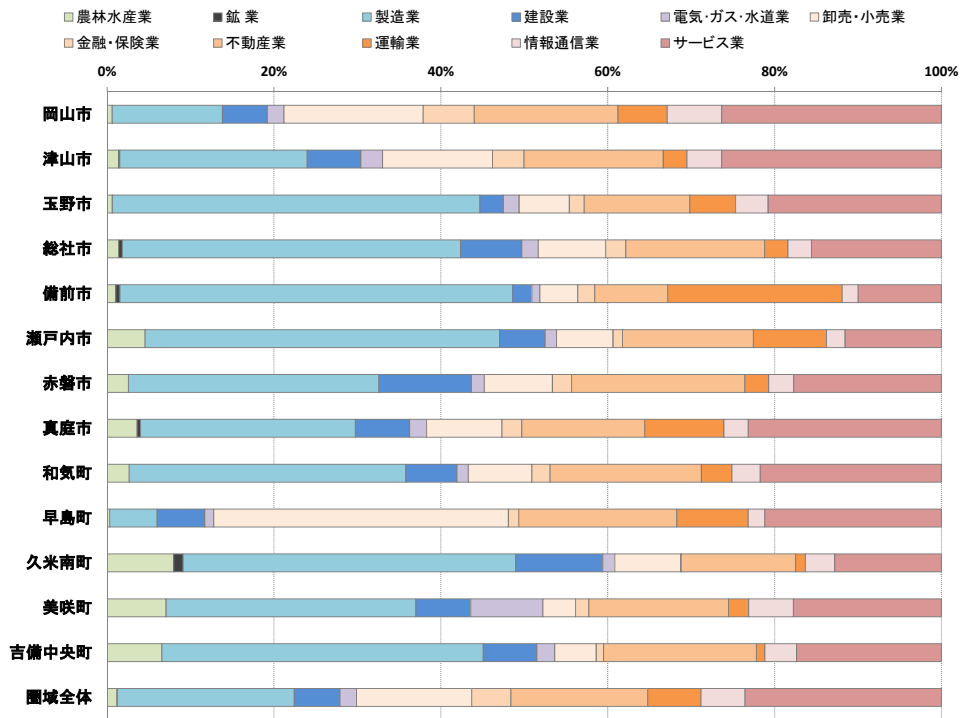
資料：岡山県「市町村民経済計算」

図表 13 圏域の業種別生産額の推移



資料：岡山県「市町村民経済計算」

図表 14 圏域市町別の産業別生産額の構成比（2013年）

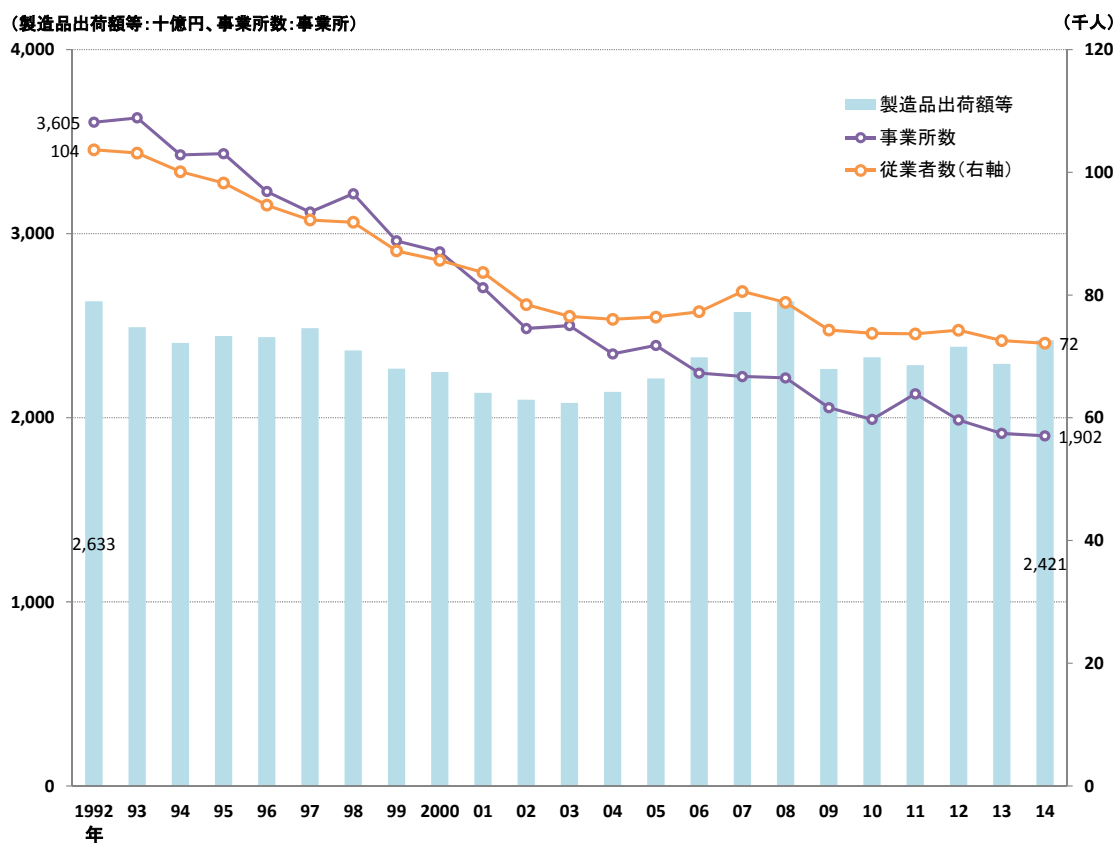


資料：岡山県「市町村民経済計算」

③ 製造業

- 圏域の製造品出荷額は、1992年から2014年までを通して2.0兆～2.6兆円を維持している。ただし、従業者数・事業所数はともに1992年から2014年にかけて約30%の減少となっている。
- 製造業の地域構成は、圏域内の製造品出荷額2.4兆円のうち4割を岡山市が占めている。従業者も出荷額同様に38.0%が岡山市に集中している。
- 製造品出荷額ベースで岡山市に次ぐのが玉野市・備前市・総社市である。玉野市は輸送用機械、備前市は窯・土石、総社市は輸送用機械・食料品といった製造業の特性を有している。

図表 15 圏域の製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移



(注1) 製造品出荷額等とは、1年間(1～12月)における製造品出荷額、加工賃収入額、その他収入額及び製造工程からでたくず及び廃物の出荷額の合計であり、消費税等内国消費税額を含んだ額である。

資料：経済産業省「工業統計調査」

図表 16 圏域市町別の事業所数・従業者数・製造品出荷額等・粗付加価値額（2014年）

地域	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		粗付加価値額	
	(所)	(構成比)	(人)	(構成比)	(億円)	(構成比)	(億円)	(構成比)
岡山市	813	(42.7)	27,379	(38.0)	9,624	(39.8)	3,620	(39.1)
津山市	205	(10.8)	5,985	(8.3)	2,025	(8.4)	890	(9.6)
玉野市	153	(8.0)	7,211	(10.0)	2,860	(11.8)	1,074	(11.6)
総社市	146	(7.7)	8,892	(12.3)	2,283	(9.4)	717	(7.8)
備前市	142	(7.5)	5,518	(7.6)	2,555	(10.6)	976	(10.6)
瀬戸内市	93	(4.9)	5,072	(7.0)	1,632	(6.7)	696	(7.5)
赤磐市	80	(4.2)	3,334	(4.6)	894	(3.7)	353	(3.8)
真庭市	129	(6.8)	3,799	(5.3)	1,030	(4.3)	417	(4.5)
和気町	46	(2.4)	1,276	(1.8)	347	(1.4)	151	(1.6)
早島町	16	(0.8)	316	(0.4)	64	(0.3)	32	(0.3)
久米南町	11	(0.6)	402	(0.6)	89	(0.4)	54	(0.6)
美咲町	37	(1.9)	1,296	(1.8)	297	(1.2)	123	(1.3)
吉備中央町	31	(1.6)	1,664	(2.3)	510	(2.1)	146	(1.6)
圏域全体	1,902	(100.0)	72,144	(100.0)	24,210	(100.0)	9,247	(100.0)

(注1) 粗付加価値額とは、事業所の生産活動によって新たに付け加えられた額のこと。従業者30人以上の事業所では、「付加価値額＝生産額－（消費税を除く内国消費税額＋推計消費税額）－原材料使用額等－減価償却額」で求められる。ここでの生産額は、製造品出荷額等に在庫額の変化を加えたものとなる。従業者29人以下の事業所では、製造品出荷額等を生産額とみなす、また、減価償却費が把握されていないため、「粗付加価値額」として算出している。したがって、全事業所の合計は「粗付加価値額」として表象される。

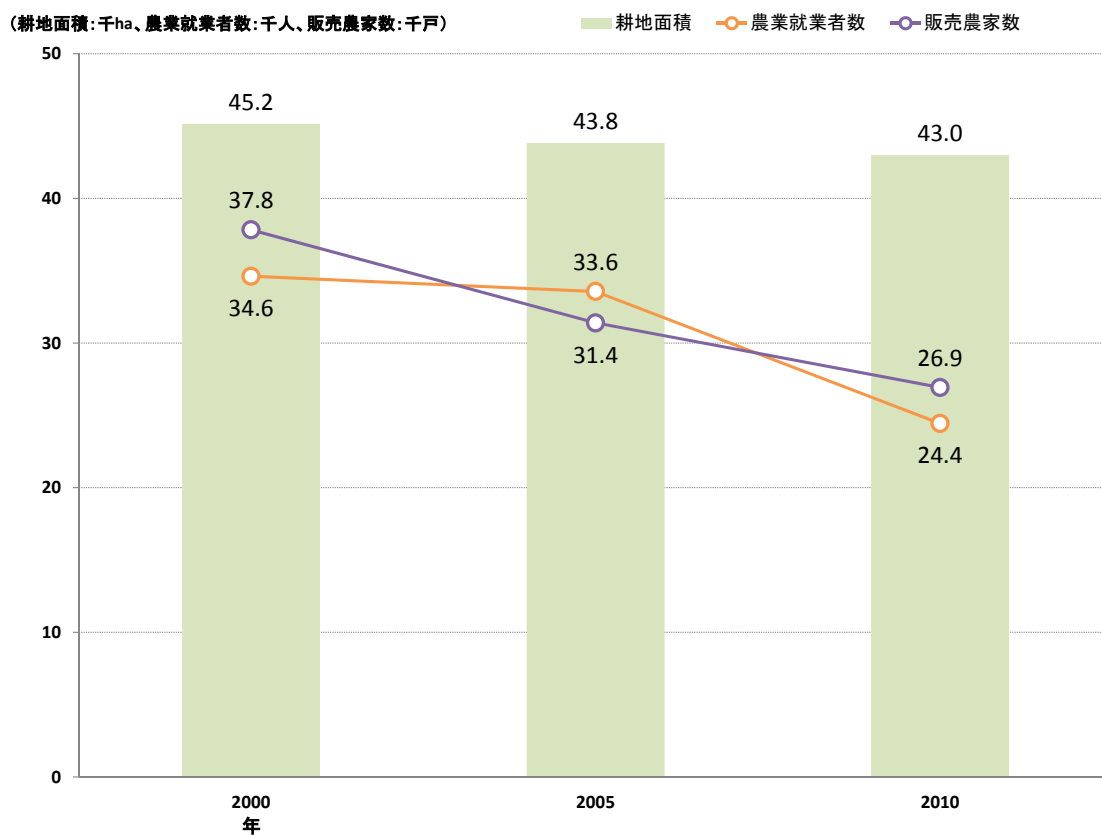
(注2) 四捨五入の関係で各市町の数値の合計値が、圏域全体の値と一致しない場合がある。

資料：経済産業省「工業統計調査」

④ 農業

- 圏域の農業就業者数・販売農家は高齢化や後継者不足などを原因として減少傾向にある。それに伴い耕地面積も減少傾向にある。
- 圏域全体の農業産出額は約 680 億円であり、総農家数は約 2.7 万戸である。農家 1 戸当たりの農業産出額は、美咲町・瀬戸内市・久米南町・玉野市・岡山市が圏域平均よりも高くなっている。

図表 17 圏域の耕地面積・農業就業者数・販売農家数の推移



(注1) 「販売農家」とは、経営耕地面積が 30a 以上又は農産物販売金額が 50 万円以上の農家を指す。

資料：農林水産省「農林業センサス」「作物調査」、総務省「国勢調査」

図表 18 市町別の農業産出額（2006年）・販売農家数（2010年）

地域	農業産出額		農家数(販売農家)(戸)		農家1戸あたり 農業産出額 (百万円/戸)
	(百万円)	(構成比)	(戸)	(構成比)	
岡山市	22,810	(33.5)	8,730	(32.4)	2.6
津山市	7,480	(11.0)	4,103	(15.2)	1.8
玉野市	1,390	(2.0)	479	(1.8)	2.9
総社市	3,580	(5.3)	1,922	(7.1)	1.9
備前市	760	(1.1)	480	(1.8)	1.6
瀬戸内市	5,540	(8.1)	1,293	(4.8)	4.3
赤磐市	4,030	(5.9)	1,770	(6.6)	2.3
真庭市	8,210	(12.1)	3,761	(14.0)	2.2
和気町	1,620	(2.4)	740	(2.7)	2.2
早島町	210	(0.3)	132	(0.5)	1.6
久米南町	1,890	(2.8)	633	(2.4)	3.0
美咲町	6,620	(9.7)	1,298	(4.8)	5.1
吉備中央町	3,860	(5.7)	1,588	(5.9)	2.4
圏域全体	68,000	(100.0)	26,929	(100.0)	2.5

(注1) 「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上又は農産物販売金額が50万円以上の農家を指す。

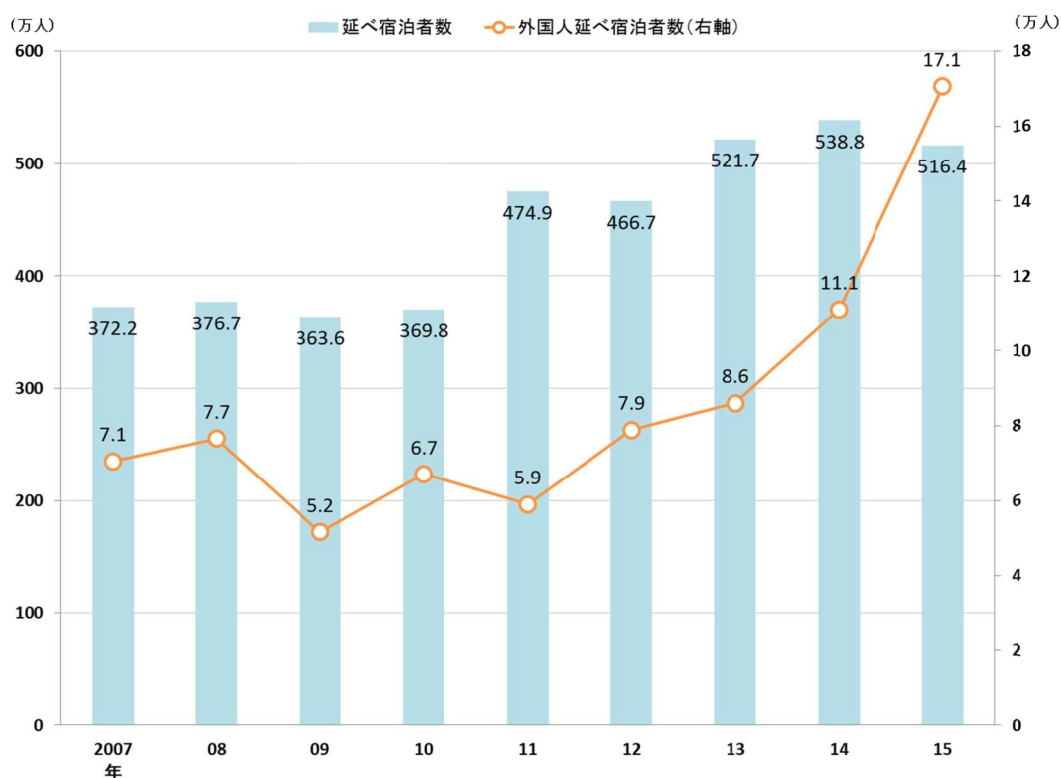
(注2) 四捨五入の関係で各市町の数値の合計値が、圏域全体の値と一致しない場合がある。

資料：農林水産省「生産農業所得統計」（2006年）「農林業センサス」（2010年）

⑤ 観光

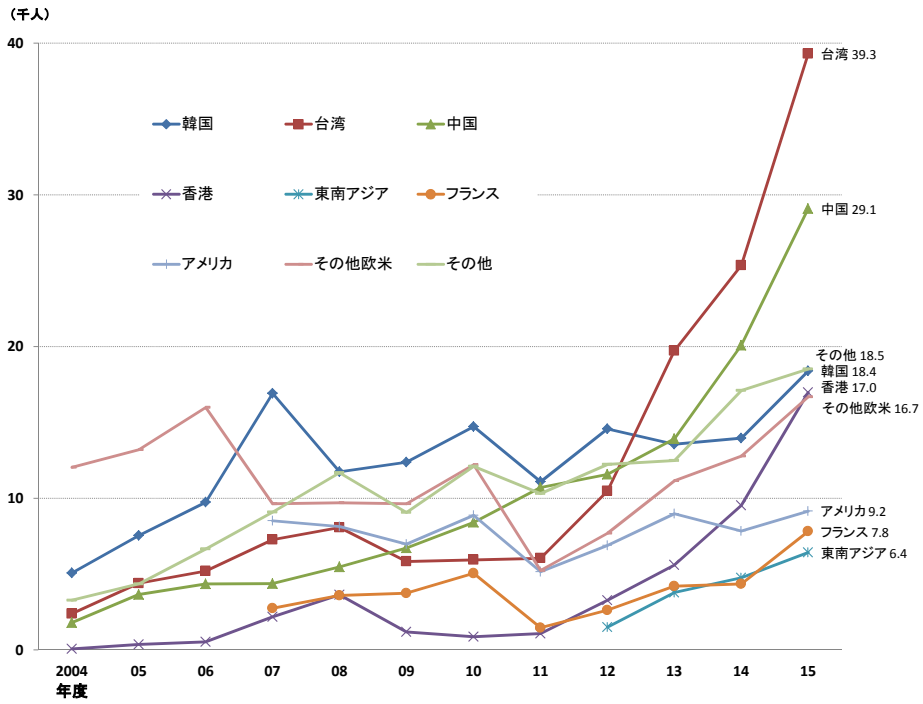
- 岡山県全体での宿泊者数は年により増減はあるものの、増加傾向にある。2013年には年間延べ宿泊者数が500万人を超え、2015年には約516万人となっている。また、外国人宿泊者数も増加しており、2014年は初めて10万人を突破、2015年には約17万人に達している。
- 2015年の外国人旅行者宿泊者数は、アジアからの観光客が多く、その中でも台湾は全体の24%を占める割合となっている。次いで中国、韓国、香港となっている。
- 外国人宿泊者数の長期推移をみると、2004年時点では欧米からの観光客が多かったが、2011年には東日本大震災の影響もあり、その数が大幅に減少した。しかし、震災以降、台湾を筆頭にアジアからの観光客が増加し、2015年には外国人旅行者宿泊者の6割以上をアジアからの旅行者が占めている。
- 観光地別に観光客数をみると、岡山市の中心部と真庭市の蒜山高原、玉野・渋川、津山・鶴山公園の入込客数が多い。

図表 19 県の宿泊者数の推移（外国人含む）



資料：観光庁「宿泊旅行統計」

図表 20 県の外国人旅行者宿泊者数の推移



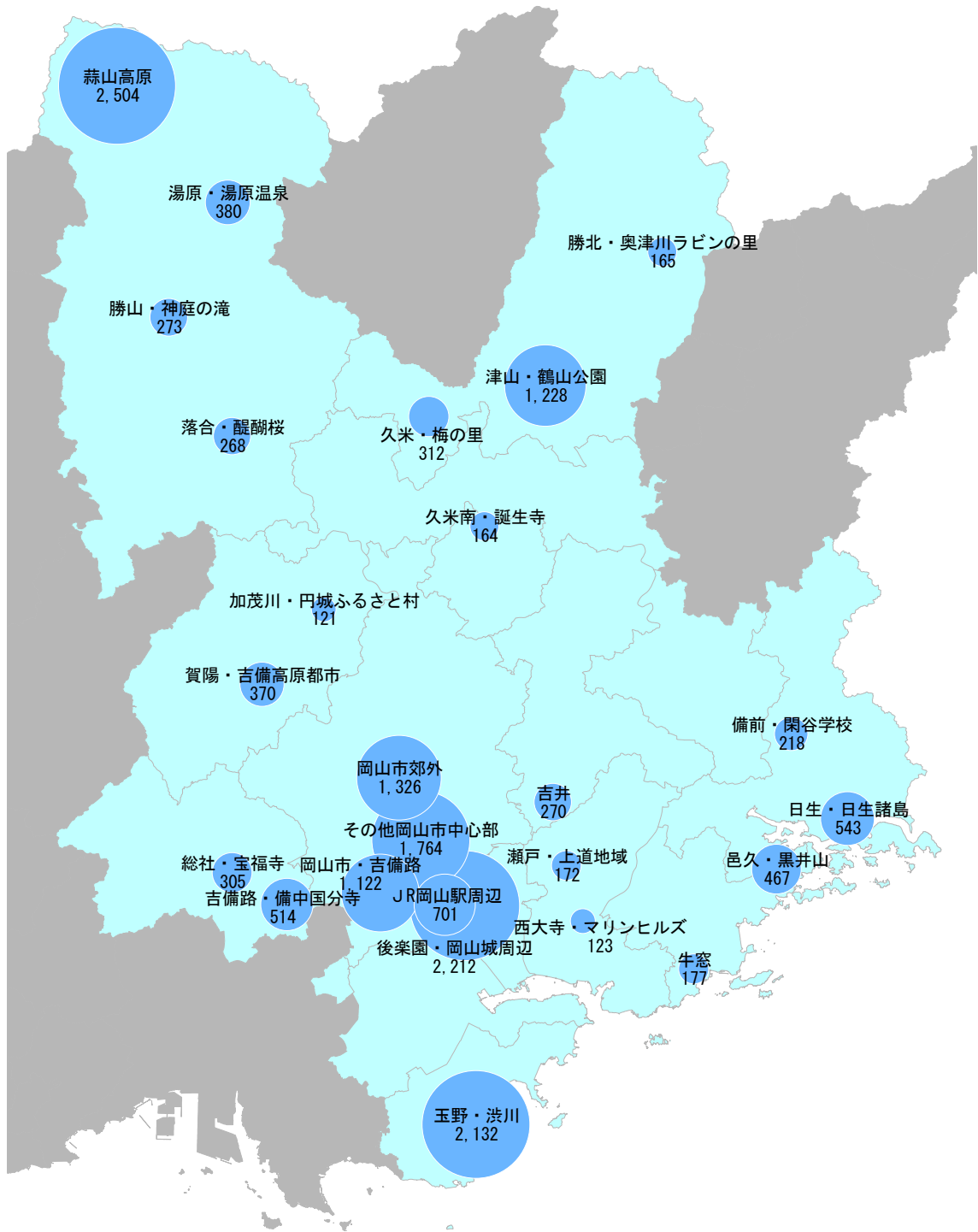
資料：岡山県「平成 27 年岡山県観光客動態調査報告書」

図表 21 県の外国人旅行者宿泊者数（2015 年）



資料：岡山県「平成 27 年岡山県観光客動態調査報告書」

図表 22 圏域の主な観光地の観光客数（2015 年）



単位：千人

資料：岡山県「平成 27 年岡山県観光客動態調査報告書」

(3) 高次都市機能の集積状況

① 医療

- 圏域に立地する病院数（一般病院）は91病院であり、半数以上の48病院が岡山市内に立地している。また、津山・玉野市にも一定の集積が見られる。また、診療所は一般診療所が1,083カ所あり、うち690カ所が岡山市内に立地している。人口規模の小さい町では病院・診療所数ともに少なく、久米南町には病院が立地していない。
- 圏域に含まれる4つの二次医療圏（県南東部、県南西部、真庭、津山・英田）のうち、都市圏全体で54の医療機関が二次救急医療機関として、圏域の救急医療体制を構築している。二次医療機関の立地状況からは、県北部・南部に病院の立地が目立つが、県中部には病院の立地が少ない。

図表 23 市町別の医療施設数・医師数（2014年）

二次保健医療圏	市町名	医療施設			医師	
		一般病院数 (施設)	一般診療所数 (施設)	人口千人当たり 医療施設数	医師数 (人)	人口千人当たり 医師数
県南東部	岡山市	48	690	1.0	2,861	4.1
	玉野市	9	53	1.0	111	1.7
	備前市	5	30	0.9	49	1.3
	瀬戸内市	4	31	0.9	62	1.6
	赤磐市	1	38	0.9	53	1.2
	和気町	2	12	0.9	33	2.2
県南西部	吉備中央町	2	14	1.3	21	1.7
	総社市	3	47	0.7	72	1.1
	早島町	1	8	0.7	39	3.2
真庭	真庭市	6	43	1.0	75	1.5
津山・英田	津山市	9	99	1.0	297	2.8
	久米南町	0	6	1.1	4	0.8
	美咲町	1	12	0.8	10	0.6
圏域全体		91	1,083	1.0	3,687	3.1

(注1) 一般病院とは病院のうち精神科病院（精神病床のみを有する病院）以外のものを指す。一般診療所とは、医師又は歯科医師が医業又は歯科医業を行う場所（歯科医業のみは除く）であって、患者の入院施設を有しないもの又は19人以下の入院施設を有するものを指す。

資料：厚生労働省「医療施設調査」「医師・歯科医師・薬剤師調査」、総務省「住民基本台帳」

図表 24 二次保健医療機関・市町別の二次救急医療機関数

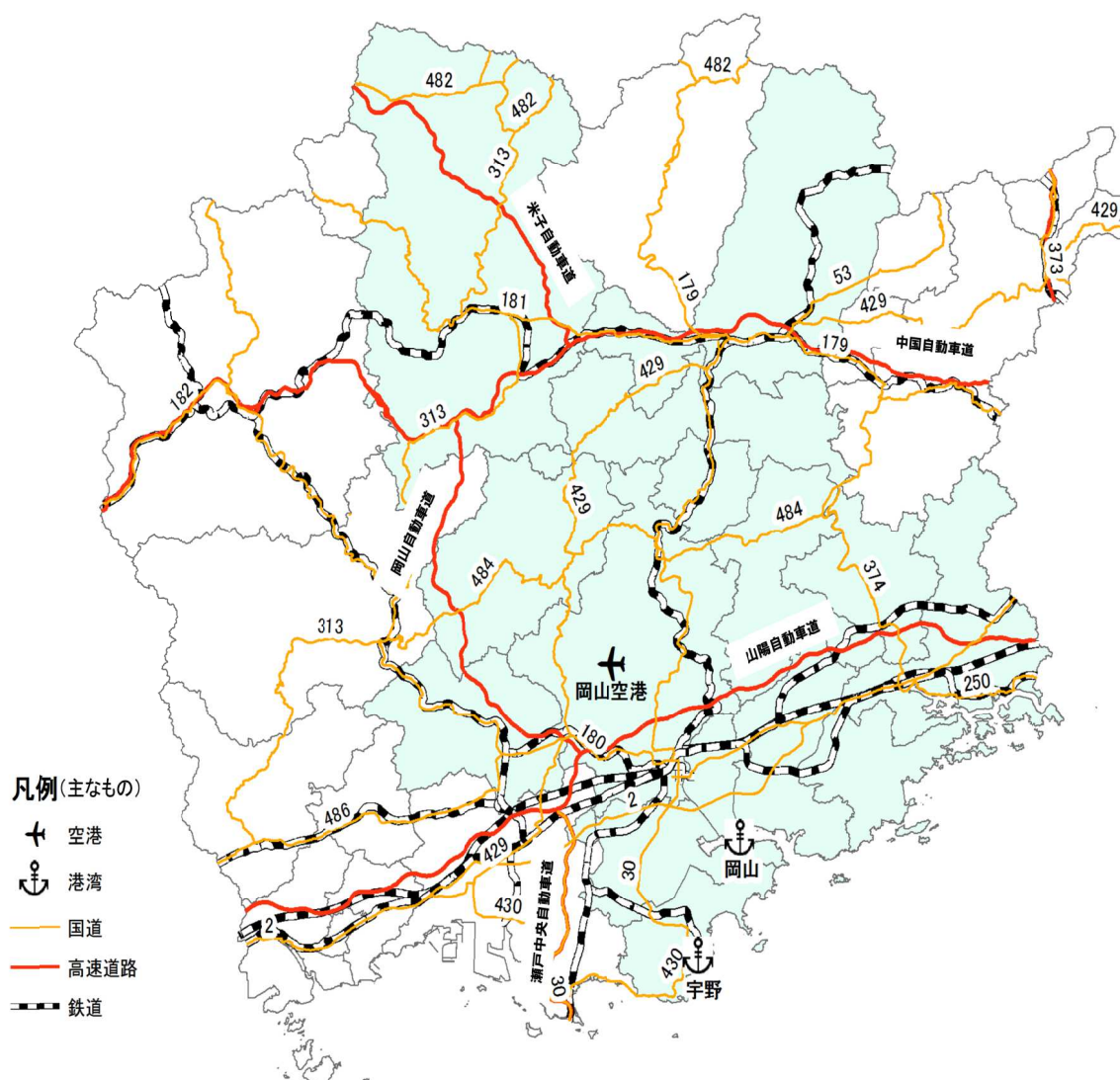
二次保健医療圏	市町名	総数	二次救急医療機関		
			病院輪番制 参加病院	協力病院 当番制病院	その他救急 告示病院等
県南東部	岡山市	42	6	27	9
	玉野市	28	6	14	8
	備前市	7	0	6	1
	瀬戸内市	3	0	3	0
	赤磐市	1	0	1	0
	和気町	1	0	1	0
県南西部	総社市	2	0	0	2
	早島町	1	0	0	1
	真庭	6	6	0	0
津山・英田	真庭市	6	6	0	0
	津山市	3	3	0	0
圏域全体		54	15	27	12

資料：岡山県「第7次岡山県保健医療計画」

② 交通

- 本圏域は、関西から中国・四国・九州に至るまでの交通の結節点に位置し、新幹線を含む鉄道・高速道路・航路など多様な広域交通網が発達している。
- 地理的な優位性を活かして、活力ある圏域を形成していくために、圏域内の市町と連携しながら、公共交通網の維持・充実を図っていくことが必要である。

図表 25 圏域の交通ネットワーク



(ア) 鉄道

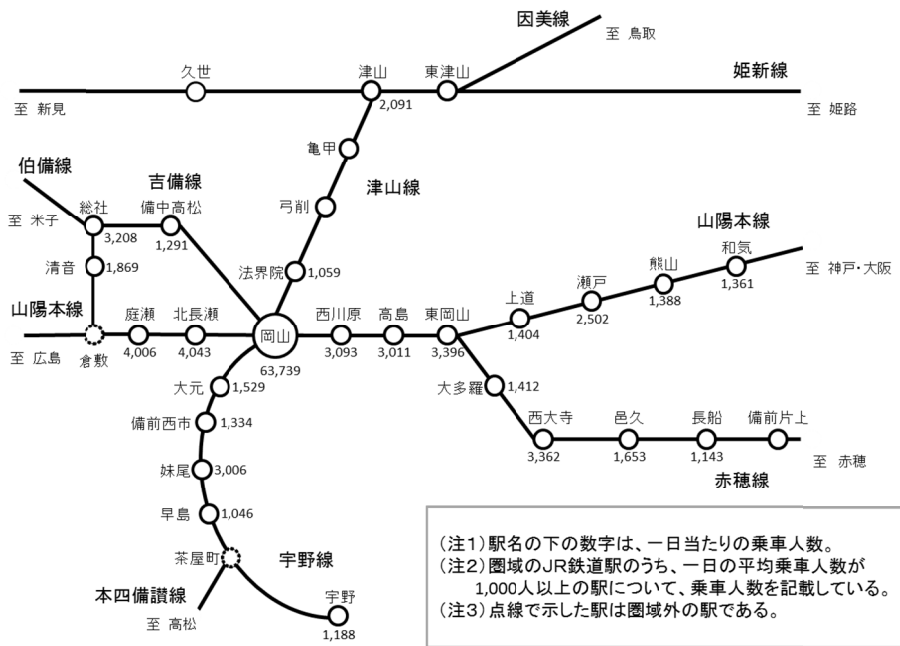
- 圏域における鉄道事業者は西日本旅客鉄道（株）と井原鉄道（株）の2社であり、JRは新幹線及び在来線9路線を運営しており、井原鉄道は井原線を運営している。

図表 26 圏域の鉄道事業の概要（2016年5月現在）

事業者名・路線名	区間	営業キロ	駅数	駅名
西日本旅客鉄道				
山陽新幹線			1	岡山(岡山市)
山陽本線	三石～庭瀬	47.5	13	三石・吉永(備前市)、和気(和気町)、熊山(赤磐市)、万富・瀬戸・上道・東岡山・高島・西川原・岡山・北長瀬・庭瀬(岡山市)
姫新線	東津山～富原	55.4	12	東津山・津山・院庄・美作千代・坪井(津山市)、美作追分・美作落合・古見・久世・中国勝山・月田・富原(真庭市)
赤穂線	寒河～東岡山	37.8	13	寒河・日生・伊里・備前片上・西片上・伊部・香登(備前市)、長船・邑久・大富(瀬戸内市)、西大寺・大多羅・東岡山(岡山市)
津山線	岡山～津山	58.7	17	岡山・法界院・備前原・玉柏・牧山・野々口・金川・建部・福渡(岡山)、神目・弓削・誕生寺(久米南町)、小原・亀甲(美咲町)、佐良山・津山口・津山(津山市)
因美線	美作河井～東津山	22.3	6	美作河井・知和・美作加茂・三浦・美作滝尾・高野(津山市)
吉備線	岡山～総社	20.4	10	岡山・備前三門・大安寺・備前一宮・吉備津・備中高松・足守(岡山市)、服部・東総社・総社(総社市)
宇野線	岡山～宇野 (途中倉敷市含む)	32.8	14	岡山・大元・備前西市・妹尾・備中箕島(岡山市)、早島・久々原(早島町)、彦崎・備前片岡・追川(岡山市)、常山・八浜・備前田井・宇野(玉野市)
伯備線	清音～美袋	15.4	5	清音・総社・豪溪・日羽・美袋(総社市)
本四備讃線		—	1	植松(岡山市)
井原鉄道				
井原線	総社～清音	3.4	2	総社・清音(総社市)

資料：各社ウェブサイト等により作成

図表 27 圏域のJRの鉄道ネットワークと主要駅の平均乗車人数（2014年）



資料：岡山県統計年報等により作成

(イ) 路線バス

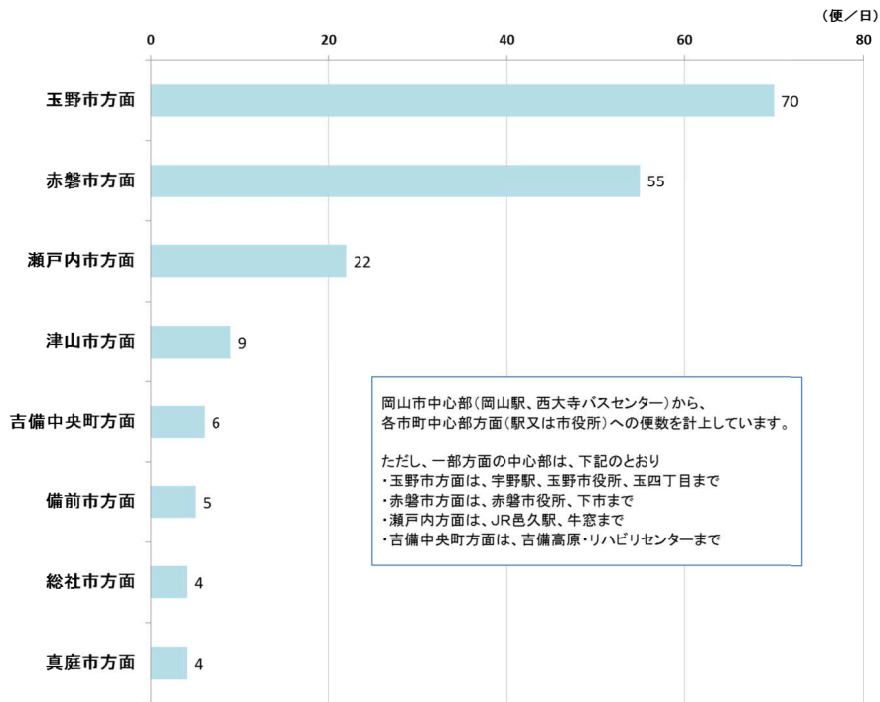
- 本圏域では岡山市中心部や津山市中心部等をターミナルとして都市圏内各地に路線を有する主なバス事業者が8社あり、鉄道路線と並び重要な広域交通手段となっている。

図表 28 圏域の路線バスの概要 (2016年5月現在)

事業者名	事業概要
宇野自動車(株)	・ 岡山駅・表町バスセンターをターミナルに、岡山市・瀬戸内市・備前市・赤磐市・美咲町等をつなぐ路線を運行している。
岡山電気軌道(株)	・ 岡山駅・天満屋バスステーションをターミナルとして、岡山駅近郊で運行し、住宅地・団地・大学・病院への輸送を担っている。
下津井電鉄(株)	・ 岡山駅・天満屋バスステーション・倉敷駅・茶屋町駅・児島駅をターミナルとして、岡山市・倉敷市を中心に運行している。
中鉄バス(株)	・ 岡山駅・天満屋バスステーションをターミナルに、岡山市・吉備中央町等を中心に運行。総社市にも路線を有する。
中鉄北部バス(株)	・ 津山駅・中国勝山駅をターミナルに、津山市内を中心に運行している。
八晃運輸(株)	・ 岡山市内で市内循環バス「めぐりん」を運行している。
備北バス(株)	・ 高梁バスセンターを主なターミナルとして、岡山県北西部(高梁市・真庭市・新見市等)を運行エリアとして路線バスを運行している。
岡備ホールディングス(株)	・ 岡山駅・天満屋バスセンター・西大寺バスセンター・JR宇野駅・JR倉敷駅・JR新倉敷駅等を主なターミナルとして、岡山市・倉敷市・玉野市とその周辺地域を結ぶ路線バス「岡備バス」を運行している。

資料：各社ウェブサイト等により作成

図表 29 岡山市と圏域の他市町との間の主な路線バスの便数 (2016年5月現在)



(注1) 上記便数は岡山市から各地への平日往路の便数である。

資料：各社ウェブサイト等により作成

(ウ) 空港

- 圏域には岡山空港があり、国内線 3 路線、国際線 4 路線が運行されており、国内外との広域交通を担っている。

図表 30 岡山空港の国内・国際路線の運行状況

国内路線		国際路線	
	便数 (1日当たり)		便数 (週当たり)
東京(羽田)	10	韓国(ソウル)	5
札幌(新千歳)	1	中国(上海)	7
沖縄(那覇)	1	台湾(台北)	3
		香港	2
合計	12		17

資料：岡山空港ウェブサイト（2016年9～10月の運行状況）

③ 高等教育機関

- 圏域内には 11 大学、10 大学院、4 短期大学及び 1 高等専門学校があり、約 3.6 万人の学生が学んでいる。

図表 31 圏域の大学（大学院）・短期大学・高等専門学校別の学生数（2015 年）

分類	学校名	主な所在地	学生数(人)			
			大学 高専	大学院		
大学	国立	岡山大学	岡山市	10,240	2,949	
	公立	岡山県立大学	総社市	1,638	211	
	私立	岡山商科大学	岡山市	1,395	31	
		岡山理科大学	岡山市	5,984	214	
		環太平洋大学	岡山市	1,787	-	
		山陽学園大学	岡山市	646	9	
		就実大学	岡山市	2,560	22	
		中国学園大学	岡山市	602	9	
		ノートルダム清心女子大学	岡山市	2,290	15	
		美作大学	津山市	967	6	
	吉備国際大学	岡山市・高梁市	1,873	59		
	小計				29,982	3,525
	短大	私立	山陽学園短期大学	岡山市	342	-
中国短期大学			岡山市	472	-	
就実短期大学			岡山市	410	-	
美作大学短期大学部			津山市	220	-	
小計				1,444	-	
高専	国立	津山工業高等専門学校	津山市	864	-	
圏域全体				32,290	3,525	

(注1) 吉備国際大学については、圏域内の岡山市と圏域外の高梁市にキャンパスが立地しているが、主に岡山市のキャンパスに通学する学生数のみを切り分けることができないため、総数を記載している。

(注2) 上記学生数には通信課程の学生数を含んでいない。

資料：各学校ウェブサイト掲載の 2015 年情報開示資料等

2. 岡山連携中枢都市圏の将来展望

(1) 岡山連携中枢都市圏の将来像

つながり、創造する。躍動！岡山都市圏

本圏域では、人口減少・少子高齢化が進行する中で、圏域内の市場の縮小への対応、労働力の確保等、圏域経済の活性化を図るとともに、安定した住民サービスを提供し、地域の活力を維持していくことが求められている。

このような状況の中、岡山市を中心とする8市5町は、有機的かつ友好的に結んできた歴史・文化を背景として、相互により深く“**つながり**”、様々な主体と連携しながら、圏域全体の経済成長のけん引、高次の都市機能の集積・強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に一体的に取り組むことにより、圏域住民に「住みやすい」「住み続けたい」と思ってもらうとともに、圏域外の人にも「住んでみたい」と思ってもらえるような圏域を“**創造**”し、「住んでよかった」と誰もが実感できる、魅力にあふれ、“**躍動**”する“**岡山都市圏**”を目指す。

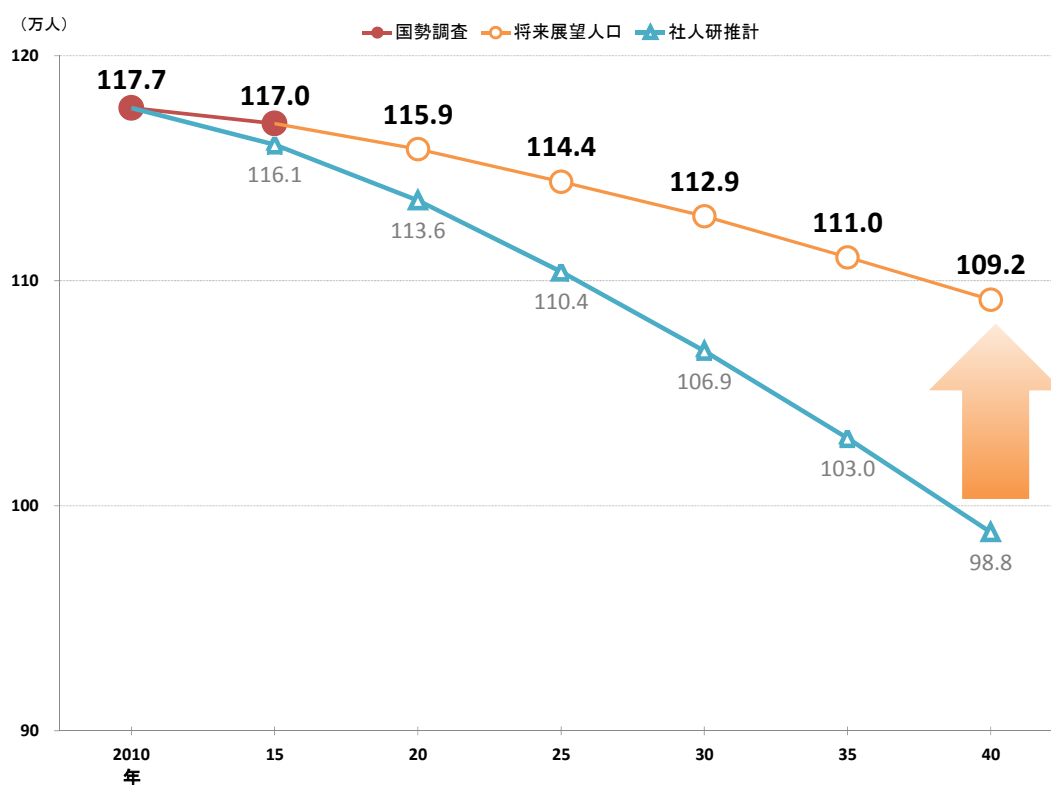
こうしたことから、本圏域では、圏域の多彩な地域資源、各種製造業の集積、充実した交通網等の特性を十分に活かし、農商工の様々な主体と連携しながら経済基盤の強化を図り、活力と好循環の創出につながるよう、圏域全体の経済成長に取り組む。また、岡山市が有する優れた広域の交通拠点性、教育・医療・行政等の各種機関、ESDや市民協働に関する多くの活動主体とそのネットワーク等の高次の都市機能を集積・強化し、地域と地域を結びつけ、人・モノ・情報の対流を促進する。さらに、圏域全体の生活関連機能サービスの維持・向上を図り、豊かな自然環境と調和し、快適で安全・安心に暮らせる圏域づくりに取り組む。

(2) 岡山連携中枢都市圏が目指す将来展望人口

圏域の人口は、2010年国勢調査時点で約117.7万人、2015年国勢調査時点で約117.0万人であるが、将来人口は国立社会保障・人口問題研究所によると、2040年には約98.8万人と、2010年比マイナス7.2%にまで減少すると推計されている。

このようにこれまでの人口動態を前提とすると、今後人口減少が加速的に進むこととなるが、経済成長、都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上を図ることにより、2040年時点で社人研推計よりも10.4万人多い109.2万人という水準（社人研推計値比プラス10.5%）の人口規模を維持することを目指し、圏域が一体となった取組を進めていく。

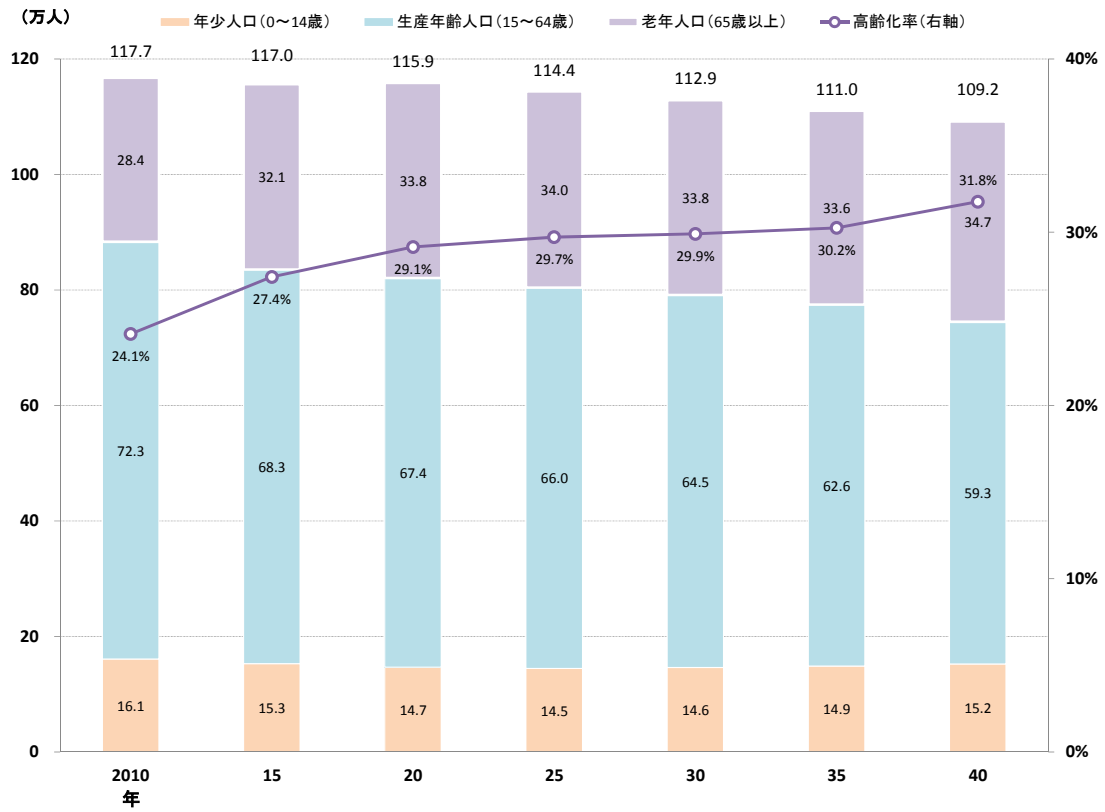
図表 32 圏域の将来展望人口



資料：総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」

圏域内各市町人口ビジョン

図表 33 圏域の将来展望人口（年齢3区分別人口・高齢化率）



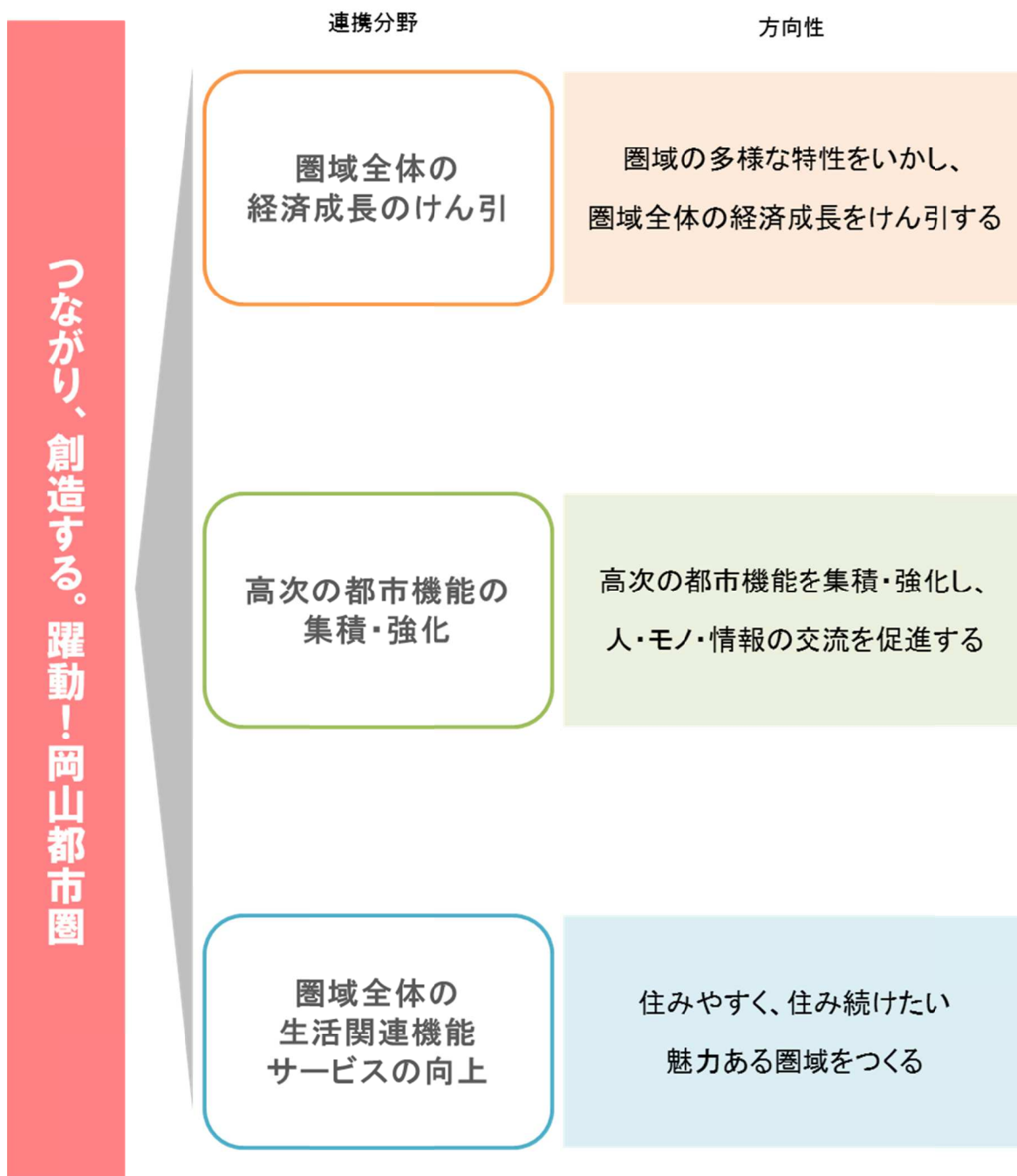
(注1) 2010年及び2015年は国勢調査、2020年以降は圏域内各市町の人口ビジョンの推計値を足し上げたもの

(注2) 2010年及び2015年は、総人口に年齢不詳を含むため、年齢3区分別人口の合計は総人口と一致しない。2020年以降についても、端数処理の関係により年齢3区分別の人口の合計が総人口に合致しない場合がある。

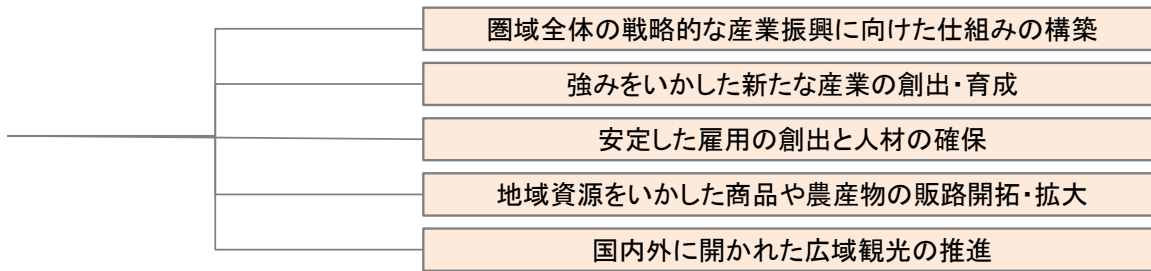
資料：総務省「国勢調査」、圏域内各市町人口ビジョン

3. 岡山連携中枢都市圏の施策体系

3つの方向性に基づき、施策展開を図り、毎年度見直すことで、効果的な取組を進めていく。



連携施策



III. 連携協約に基づき推進する具体的取組

☆事業費欄は、圏域市町の事業費合計額を記載しており、未定の場合は「－」とします。
 ☆重要業績評価指標は、現状が把握できないなど、基準値が設定できないものを「－」とします。
 ☆記載内容は、協議の状況や事業の進捗に応じ、適宜見直しを行います。

1. 圏域全体の経済成長のけん引

【基本目標】

指標	基準値	目標値
圏域内総生産額	4兆1,720億円 (平成25年度)	4兆3,560億円 (平成33年度)
圏域内観光入込客数	18,513千人 (平成27年)	23,000千人 (平成33年)

(1) 産学金官民一体となった経済戦略の策定、国の成長戦略実施のための体制整備

■ 連携施策：圏域全体の戦略的な産業振興に向けた仕組みの構築

事務事業名	圏域での産業連関表の作成					
連携市町	全市町					
事業内容	圏域経済の流れを分析するためのツールとして産業連関表の作成について検討					
見込まれる効果	圏域の経済構造を明らかにするとともに、経済波及効果分析等の基礎資料を提供することができる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議 415千円	方針決定 415千円	－千円	－千円	－千円	830千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議の開催、情報の収集及び取りまとめ ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会議への参加、情報の収集 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指標	基準値			目標値	
	方針の決定	－			方針の決定	

(2) 産業クラスターの形成、イノベーション実現、新規創業促進、地域の中堅企業等を核とした戦略産業の育成

■ 連携施策：強みをいかした新たな産業の創出・育成

事務事業名	地域産業創出・新商品開発促進					
連携市町	玉野市、備前市、真庭市、和気町、吉備中央町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 異業種交流や同業種間連携に向けた交流会、商談会等の開催 ● 大学・研究機関等との連携 ● 健康な暮らしをサポートするヘルスケア産業の創出・育成 					
見込まれる効果	創業や商品開発を促進することにつながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	一部実施	—————→				
	5,020千円	5,020千円	5,020千円	5,020千円	5,020千円	25,100千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山ヘルスケア産業連携協議会の運営（事務局） ・協議会の新規会員獲得に向けた取組 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の新規会員獲得に向けた取組への協力 ・協議会事業への参加 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	岡山ヘルスケア産業連携協議会の会員数		85者 (平成28年度)		155者 (平成33年度)	

※  は、「継続」を示しています。

■ 連携施策：安定した雇用の創出と人材の確保

事務事業名	企業立地・支援					
連携市町	赤磐市、早島町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 誘致対象企業の労働力確保に係る相互支援等の市域を超えた連携による企業誘致に向けた検討 ● 岡山県総合流通センターの流通業務団地としての更なる機能強化を図るための規制緩和やインフラ整備等の検討 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 雇用の確保につながる。 ● 企業活動環境の向上につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 方針決定				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の開催、情報の収集及び取りまとめ ・ 連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議への参加、情報の収集 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

事務事業名	中小企業の経営健全化・人材確保等支援					
連携市町	総社市、備前市					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 小規模企業に対するセミナーや後継者確保支援事業等の実施 ● 圏域内企業による合同説明会の開催と新規学卒予定者等への参加の呼びかけ・マッチング 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 販路開拓や後継者確保等が促進される。 ● 企業の人材確保につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや合同説明会の開催に向けた調整及び取りまとめ ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーや合同説明会の開催に向けた調整 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	連携市町からの合同説明会への参加企業数		－		5社 (平成31年度)	
小規模企業向けセミナーの参加者数		－		30人/回 (平成31年度)		

(3) 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大

■ 連携施策：地域資源をいかした商品や農産物の販路開拓・拡大

事務事業名	新規需要創出・喚起促進					
連携市町	真庭市					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域資源セミナーの開催等CLT建材をはじめとする地域資源のPR ● CLT建材の活用 					
見込まれる効果	地域資源をいかした商品の知名度を向上させることにつながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	一部実施	実施	→			
	170,000千円	300,000千円	－千円	－千円	－千円	470,000千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・セミナーの開催等地域資源の魅力PRに向けた取組 ・CLT建材活用の推進 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源の魅力PRに向けた取組みへの協力 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	地域資源PRセミナー 参加者数		－		500人(累計) (平成33年度)	

事務事業名	特産農産物 P R					
連携市町	赤磐市、和気町					
事業内容	生産団体等との協力を図り、県内外でのイベント等を活用した特産農産物の P R 活動の実施					
見込まれる効果	各地域の特産農産物の知名度を向上させることができる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	計
	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	10,000 千円	50,000 千円
	※H28 年度から実施					
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等での P R に向けた調整 ・ 連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ イベント等での P R に向けた調整 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (K P I)	指 標		基準値		目標値	
	岡山市主催の地産地消 マルシェ来場者数		8,000 人 (平成 28 年度)		10,000 人 (平成 33 年度)	

(4) 戦略的な観光振興

■ 連携施策：国内外に開かれた広域観光の推進

事務事業名	伝統工芸品発信					
連携市町	備前市					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● イベントでのPR・販売 ● 岡山の伝統文化に関する講習・研修の実施の検討 ● 岡山市内の飲食店における伝統工芸品の活用に向けた検討 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 伝統工芸品の知名度の向上と販売促進につながる。 ● 圏域内観光客の増加につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	一部実施	→				
	4,000千円	－千円	－千円	－千円	－千円	4,000千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・発信事業の実施及び取りまとめ ・会議の開催 ・飲食店等との交渉、生産団体等との調整 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・発信事業の実施 ・会議の開催 ・飲食店等との交渉、生産団体等との調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	協力店舗数		－		10店舗 (平成33年度)	

事務事業名	圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信					
連携市町	全市町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 歴史・文化資源等に基づくストーリー化による魅力創出と情報発信 ● 歴史・文化資源を周遊するサイクリングロードの整備 ● 2次交通も含めた圏域内周遊ルートの検討 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 観光客の滞在時間の増加につながる。 ● 圏域内観光客の増加につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	83,724千円	55,000千円	40,000千円	40,000千円	40,000千円	258,724千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施及び取りまとめ、関係団体等との調整 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施、関係団体等との調整 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	圏域内観光入込客数		18,513千人 (平成27年)		23,000千人 (平成33年)	

事務事業名	岡山型ヘルスツーリズム拠点化					
連携市町	真庭市、吉備中央町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● ハラル対応を中心とした岡山独自のムスリム観光客受入体制整備 ● 農業・農村体験等の観光メニュー化 ● 郷土芸能・軽スポーツ等の観光メニュー化 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● ムスリムをはじめとする国内外からの観光客増加につながる。 ● 観光客の滞在時間の増加につながる。 					
工程及び事業費(見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	35,683千円	39,223千円	50,618千円	29,569千円	－千円	155,093千円
	※H28年度から実施					
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施及び取りまとめ ・岡山型ヘルスツーリズム連携協議会の運営（事務局） ・地方創生推進交付金実施計画等に基づき費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施 ・協議会の会員としての参加 ・地方創生推進交付金実施計画等に基づき費用を負担する。 					
重要業績評価指標(KPI)	指 標		基準値		目標値	
	ムスリム観光客 宿泊者数		859人 (平成27年度)		4,059人 (平成32年度)	
	観光入込客数		11,493千人 (平成27年)		15,300千人 (平成32年)	
	ハラル認証及び岡山おもてなし基準を満たした 店舗・施設数		5店舗（施設） (平成27年度)		71店舗（施設） (平成32年度)	

事務事業名	アートイベントの連携による情報発信					
連携市町	玉野市、赤磐市					
事業内容	アートイベントに関する情報共有や情報発信の相互協力					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域内外に広く周知することができる。 ● 観光客の滞在時間の増加につながる。 ● 圏域内観光客の増加が期待できる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	方針決定	着手	実施			
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業の実施に向けた関係団体等との調整 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信事業の実施に向けた関係団体等との調整 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	


2. 高次の都市機能の集積・強化


【基本目標】

指標	基準値	目標値
JR 岡山駅の乗降人数	13.2 万人／日 (平成 27 年度)	14.4 万人／日 (平成 33 年度)

(1) 高度な中心拠点の整備、広域的公共交通網の構築

■ 連携施策：広域道路交通網の整備促進

事務事業名	地域高規格道路「空港津山道路」の整備促進					
連携市町	津山市、久米南町、美咲町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 空港津山道路整備促進協議会を通じた要望活動の実施 ● 効果的な事業の進め方の提案や、必要性や効果に関する啓発活動の検討・実施 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 円滑な交通の確保ができる。 ● 観光交流の拡大、企業活動の活性化、産業の振興、救命救急活動の迅速化さらには災害時の緊急輸送路の確保につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	計
	一部実施					
	230 千円	230 千円	230 千円	230 千円	230 千円	1,150 千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会の会員として、要望活動の実施 ・ 啓発活動等の検討・実施 ・ 協議会規約に基づき費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 協議会の会員として、要望活動の実施 ・ 啓発活動等の検討・実施 ・ 協議会規約に基づき費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指標	基準値		目標値		
	要望・啓発活動等の 実施実績数	1 回／年 (平成 28 年度)		3 回／年 (平成 33 年度)		

事務事業名	中国横断自動車道岡山米子線 4 車線化の促進					
連携市町	総社市、真庭市、吉備中央町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 岡山自動車道利用促進協議会を通じた要望活動、「岡山自動車道周辺ガイド」等の作成及び広報等 ● 利用促進につながる取組の検討・実施 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 円滑な交通の確保ができる。 ● 観光交流の拡大、企業活動の活性化、産業の振興、救命救急活動の迅速化さらには災害時の緊急輸送路の確保につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	計
	一部実施 					
	320 千円	320 千円	320 千円	320 千円	320 千円	1,600 千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の会員として、要望・広報活動等の実施 ・利用促進につながる取組の検討・実施 ・協議会規約に基づき費用を負担する。 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・協議会の会員として、要望・広報活動等の実施 ・利用促進につながる取組の検討・実施 ・協議会規約に基づき費用を負担する。 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	交通量の推移 (賀陽 IC～北房 JCT)		9,183 台/日 (平成 27 年度)		10,000 台/日以上 (平成 33 年度)	

事務事業名	岡山市と早島町を結ぶ国道2号等幹線道路の渋滞対策の促進					
連携市町	早島町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 国道2号岡山バイパス建設促進期成会を通じた、国道2号の主要な交差点の立体化等の要望活動の実施 ● 岡山市と早島町間の道路に関する調査・研究 ● (市)藤田浦安南町線(岡山環状道路)の整備促進 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 円滑な交通の確保ができる。 ● 交通事故の防止につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	1,685,000千円	1,376,000千円	1,859,000千円	590,000千円	—千円	5,510,000千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・期成会の会員として、要望活動の実施 ・調査・研究の実施 ・(市)藤田浦安南町線(岡山環状道路)の整備 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・期成会の会員として、要望活動の実施 ・調査・研究の実施 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	(市)藤田浦安南町線 事業進捗率 (事業費ベース)		36% (平成28年度)		100% (平成32年度)	

(2) その他、高次の都市機能の集積・強化に係る施策

■ 連携施策：ESDによる人づくりとネットワーク化の推進

事務事業名	ESD実践						
連携市町	全市町						
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員等を対象としたESD研修の共同実施 ● シンポジウムや学習会開催等住民等へのESDの啓発 ● 各地域の課題に対するESD手法を用いた実践に向けた検討 ● 学校と地域が連携した地域づくりの促進と学校の魅力づくりの検討 ● 旭川流域市町等の住民間・学校間交流促進と情報発信の検討 ● 住民間の学び合いによる観光資源の再発掘とルート化提案の検討 						
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域住民のESDについての認知度向上につながる。 ● ESD活動への参加が促進される。 ● ESD活動のネットワーク化が促進される。 ● 相互に「学びあい、気づき、行動する」人づくりにつながる。 						
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計	
	一部実施	→				実施	
	1,000千円	－千円	－千円	－千円	－千円	1,000千円	
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・職員等を対象とした研修会等の開催 ・会議の開催 ・関係団体等との調整 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 						
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・職員等を対象とした研修会等への参加・参画 ・会議への参加 ・関係団体等との調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 						
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値		
	ESDの理解を深める 研修会参加者数		－		450人(累計) (平成33年度)		


■ 連携施策：市民活動の広域展開と市民協働の推進

事務事業名	NPO法人等の「こんなことができますリスト」等の情報発信					
連携市町	玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、美咲町、吉備中央町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域内のNPO法人等の活動内容や活動圏域、得意分野等を掲載した「こんなことができますリスト」の作成と協働推進専用ウェブサイトでの公開 ● NPO法人等に同ウェブサイトへの団体登録及び「こんなことができますリスト」の情報発信の呼びかけ 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決を行う主体的な市民活動の広域展開が促進される。 ● 市町の区域を越えて地域の課題解決を図る協働のパートナーの増加につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	9,000千円	9,000千円	9,000千円	9,000千円	9,000千円	45,000千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・協働推進専用ウェブサイトの運営 ・NPO法人等に対する団体登録及び「こんなことができますリスト」の情報発信の呼びかけ ・岡山市及び連携市町の協働推進施策及び解決を図りたい社会課題の取りまとめ及び発信 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・NPO法人等に対する団体登録及び「こんなことができますリスト」の情報発信の呼びかけ ・各市町の協働推進施策及び解決を図りたい社会課題の発信 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	広域の「こんなことができますリスト」掲載団体数		—		25 団体 (平成 33 年度)	

事務事業名	官民協働事業の促進					
連携市町	玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、美咲町					
事業内容	市民団体等と行政の協働事業の実施及び交流会（事例報告会・研修会）等の合同開催					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決を行う主体的な市民活動の広域展開が促進される。 ● 市町の区域を越えて地域の課題解決を図る協働のパートナーの増加につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	10,170千円	10,170千円	10,170千円	10,170千円	10,170千円	50,850千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・広域での取組を視野に入れた「市民協働推進モデル事業」及び「ニーズ調査事業」の実施及び報告 ・交流会等の開催 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・官民協働事業の事例収集及び報告 ・交流会等への参加又は岡山市との合同開催 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	官民協働事業交流会の参加者数		—		240人（累計） （平成33年）	

事務事業名	多様な主体による課題解決マッチング					
連携市町	玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、美咲町					
事業内容	E S D・市民協働推進センターが中心となり、多様な主体による課題解決を進めるためのマッチング会（ワークショップ等）の開催					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決を行う主体的な市民活動の広域展開が促進される。 ● 市町の区域を越えて地域の課題解決を図る協働のパートナーの増加につながる。 					
工程及び事業費（見込額）	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	15,000千円	75,000千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市の協働推進コーディネート機関であるE S D・市民協働推進センターによる課題や多様な主体の掘り起こしと協働事業化支援 ・課題解決ワークショップの開催 ・ニーズ等のヒアリング実施 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決ワークショップへの参加 ・課題や多様な主体の掘り起こし ・ニーズ等のヒアリング実施への協力 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標（K P I）	指 標	基準値			目標値	
	多様な主体の協働による課題解決のための広域マッチング件数	—			14件（累計） （平成33年度）	

事務事業名	市民活動ノウハウ移転支援					
連携市町	玉野市、総社市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、美咲町					
事業内容	市民活動団体の持つ課題解決ノウハウを各自治体で活動する団体へ移転し実施することに対する支援					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決を行う主体的な市民活動の広域展開が促進される。 ● 市町の区域を越えて地域の課題解決を図る協働のパートナーの増加につながる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 試行		実施	→	
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ調査及び支援制度設計に向けた協議と移転支援事業の実施 ・ 連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ調査への協力及び支援制度設計に向けた協議 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	市民活動ノウハウ 移転件数		－		1件(累計) (平成33年度)	

事務事業名	地域における協働の仕組みづくりに関する情報交換						
連携市町	玉野市、総社市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、美咲町、吉備中央町						
事業内容	地域での課題解決の取組や多様な主体の協働の仕組み等に関する事例報告会（地域協働フォーラム）等の合同開催						
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 課題解決を行う主体的な市民活動の広域展開が促進される。 ● 市町の区域を越えて地域の課題解決を図る協働のパートナーの増加につながる。 						
工程及び事業費（見込額）	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計	
	実施						
	150千円	150千円	150千円	150千円	150千円	750千円	
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働フォーラムの開催及び全体調整 ・連携中枢都市として、必要に応じて費用を負担する。 						
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・地域協働フォーラムへの参加又は岡山市との合同開催 ・関係団体等との調整 ・地域協働事例の掘り起こし ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 						
重要業績評価指標（KPI）	指 標		基準値		目標値		
	地域協働フォーラムでの地域協働事例の発表数		—		25件（累計） （平成33年度）		

3. 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

【基本目標】

指標	基準値	目標値
圏域内市町の5年間の 転入超過者数	663人 (平成23～27年度)	700人 (平成28～32年度)

(1) 生活機能の強化に係る分野

(ア) 介護

■ 連携施策：在宅医療・介護の推進

事務事業名	地域包括ケアシステム構築推進連携					
連携市町	備前市、赤磐市					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護に携わる人材育成事業 地域医療等のデータ分析手法等を学ぶ勉強会の開催 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> 各自治体における地域包括ケアシステムの構築を促進させることができる。 在宅医療・介護事業に係る政策立案等に生かすことができる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	200千円	200千円	200千円	0千円		600千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> 連携市町、関係団体等への人材育成事業の情報提供 勉強会の開催及び参加、担当者会議の開催 連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> 岡山市、関係団体等への人材育成事業の情報提供 勉強会の開催及び参加、担当者会議への参加 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	連携して行う人材育成 事業の実施回数		—		6回/年 (平成29～32年度)	

(イ) 福祉

■ 連携施策：子育て支援の充実

事務事業名	保育園等の広域入所					
連携市町	赤磐市、和気町、久米南町、吉備中央町					
事業内容	広域入所の円滑な実施に向けた仕組みづくり					
見込まれる効果	利用者の多様な教育・保育ニーズへの対応ができる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	実施				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当国会議の開催、情報の収集及び取りまとめ ・ 連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当国会議への参加、情報の収集 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	利用者の広域入所手続の 利便性向上		－		手続整理後に設定	

(ウ)教育・文化・スポーツ

■ 連携施策：教育分野における交流の強化

事務事業名	学校教育に関する情報共有					
連携市町	総社市、和気町					
事業内容	学校教育における特色ある取組に関する情報の共有					
見込まれる効果	学校教育における特色ある取組の広域展開や共通課題の解決につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有、担当者会議の開催 連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> 情報の共有、担当者会議への参加 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	情報共有した特色ある取組件数		－		50件／年 (平成29～33年度)	
	担当者会議の回数		－		10回／年 (平成29～33年度)	

事務事業名	交流学習					
連携市町	真庭市					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● これまでの実績に基づく、インターネット等を活用した学校間交流活動や統一テーマでの合同学習・交流の実施 ● 旭川流域の複数校が参加するプロジェクト学習等の検討 					
見込まれる効果	持続可能な広域的学校間交流に向けた、学習環境と学習内容の充実につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	方針決定	実施			
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議の開催、事業実施に向けた情報の収集 ・ 連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議への参加、事業実施に向けた情報の収集 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

■ 連携施策：圏域の活性化に向けたスポーツ振興

事務事業名	「ファジアーノ岡山」、「岡山シーガルズ」の支援					
連携市町	全市町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● PRポスター掲出及びチラシ配置、観戦チケット販売窓口の増設 ● トッププロ選手による出前指導教室の実施 ● 「(仮称)岡山デー」のホームゲーム開催 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域内の地域スポーツの発展が期待できる。 ● 圏域内の交流人口の増加が期待できる 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	400千円	400千円	400千円	400千円	400千円	2,000千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・PR事業の実施及び取りまとめ ・担当者会議の開催 ・連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・PR事業への協力 ・担当者会議への参加 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	「ファジアーノ岡山」 ホームゲーム平均入場者数		8,404人 (平成26年度)		12,000人 (平成31年度)	
	「岡山シーガルズ」 ホームゲーム平均入場者数		3,397人 (平成26年度)		4,500人 (平成31年度)	

事務事業名	大規模なスポーツ大会等の受入体制の整備					
連携市町	全市町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ大会や施設等の情報の共有 ● 大規模スポーツ大会の誘致 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域内の地域スポーツの発展が期待できる。 ● 圏域内外の交流人口の増加が期待できる ● 経済効果が期待できる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	実施				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・大会誘致に向けた事業の実施及び取りまとめ ・担当者会議の開催 ・連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・大会誘致に向けた事業への協力 ・担当者会議への参加 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	


(工) 地域振興

■ 連携施策：広域的な農作物被害の減少

事務事業名	有害鳥獣対策研究					
連携市町	玉野市、総社市、赤磐市、久米南町、吉備中央町					
事業内容	被害対策に係る情報の共有及び研究					
見込まれる効果	有害鳥獣による農作物被害の減少につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当国会議の開催、情報の共有 ・ 連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当国会議への参加、情報の共有 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	担当国会議の回数		－		1回／年 (平成29～33年度)	

(オ) 環境

■ 連携施策：河川環境保全の推進

事務事業名	河川の水質改善と環境保全推進					
連携市町	赤磐市、真庭市					
事業内容	旭川水系の生きもの調査や里山づくり活動などの自然体験・環境保全活動を連携して実施					
見込まれる効果	市民の河川環境への意識が高まり、河川の水質改善と河川環境の保全につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	計
	実施					
	2,568 千円(※)	－ 千円	－ 千円	－ 千円	－ 千円	2,568 千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験行事等の実施、会議の開催 ・ 連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自然体験行事等の実施、会議への参加 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (K P I)	指 標		基準値		目標値	
	連携して行う自然体験 行事等の実施回数		－		10 回／年 (平成 33 年度)	

※事業費の一部に、事務事業「ESD 実践」に係る事業費を含む。

■ 連携施策：安定したごみ処理の推進

事務事業名	ごみ焼却処理相互支援					
連携市町	玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、久米南町					
事業内容	施設トラブルによる緊急停止時等におけるごみの一時的受入れの実施					
見込まれる効果	安定的にごみの焼却処理を行うことができる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの受入れ ・連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみの受入れ ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	ごみ処理受入率		100% (平成28年度)		100% (平成29～33年度)	

事務事業名	広域ごみ処理施設整備					
連携市町	玉野市、久米南町					
事業内容	岡山ブロック協議会で策定したごみ処理広域化基本計画に基づく、広域ごみ処理施設の整備及び協議の実施					
見込まれる効果	安全で効率的かつ安定的なごみの焼却処理につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	14,500千円	39,000千円	45,000千円	18,000千円	－千円	116,500千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当国会議への参加、情報の収集 ・ 連携市町と協議の上、費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 担当国会議への参加、情報の収集 ・ 岡山市等と協議の上、費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	施設稼働		－		施設稼働 (平成 37 年度)	

(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(ア) 地域公共交通

■ 連携施策：生活交通による公共交通ネットワークの充実

事務事業名	御津・建部地域と久米南町を結ぶ地域間路線の再構築					
連携市町	久米南町					
事業内容	両市町のコミュニティバス、デマンドタクシー等の運行ルート見直しによる地域間路線の再構築の検討					
見込まれる効果	地域住民の生活交通の充実が期待できる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 方針決定				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、久米南町等との協議及び調整 ・久米南町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

事務事業名	灘崎地域と玉野市を結ぶ地域間路線の構築					
連携市町	玉野市					
事業内容	玉野市のコミュニティバスと岡山市南区灘崎町迫川地区で導入を検討しているデマンド交通との連携等を視野に入れた地域間路線の構築の検討					
見込まれる効果	地域住民の生活交通の充実が期待できる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 方針決定				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、玉野市等との協議及び調整 ・玉野市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

事務事業名	岡山市内鉄道駅と赤磐市を結ぶ地域間路線の構築					
連携市町	赤磐市					
事業内容	瀬戸駅等の岡山市内鉄道駅と赤磐市民バスを結ぶことによる地域間路線の構築の検討					
見込まれる効果	地域住民の生活交通の充実が期待できる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→		方針決定		
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、赤磐市等との協議及び調整 ・赤磐市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

■ 連携施策：公共交通ネットワークの利便性の向上

事務事業名	J Rの利用促進と駅機能強化					
連携市町	津山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、和気町、早島町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● パーク&ライドの利用促進 ● J Rに対する運行サービスの改善に係る働きかけ ● 既存路線の利用促進事業の検討 					
見込まれる効果	利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議				方針決定	
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、連携市町等との協議及び調整 ・連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (K P I)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

事務事業名	岡山市と吉備中央町のバス路線の再構築					
連携市町	吉備中央町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● バスネットワークの再構築に係る検討 ● バス路線の朝夕の時間帯増便に係る事業者・県への共同要望 					
見込まれる効果	利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 方針決定				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、吉備中央町等との協議及び調整 ・吉備中央町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	


事務事業名	西大寺地域と瀬戸内市のバス路線の再構築					
連携市町	瀬戸内市					
事業内容	バス路線の再編や増便に係る検討					
見込まれる効果	利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。					
工程及び 事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 方針決定				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、瀬戸内市等との協議及び調整 ・瀬戸内市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (K P I)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

事務事業名	岡山空港から宇野港までの直通バスの導入					
連携市町	玉野市					
事業内容	岡山駅を經由する岡山空港と南部（玉野市）をつなぐ直通便導入の検討					
見込まれる効果	利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 方針決定				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、玉野市等との協議及び調整 ・玉野市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、岡山市等との協議及び調整 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

事務事業名	備前市におけるコミュニティサイクルシステムの導入					
連携市町	備前市					
事業内容	備前市内の観光拠点駅を中心とするコミュニティサイクルシステム導入に係る検討					
見込まれる効果	利用者の公共交通の利便性向上が期待できる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	方針決定				
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山市のコミュニティサイクル「ももちやり」のシステムや運営等に関する情報提供 ・備前市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ニーズの把握、システム導入の検討 ・岡山市と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	


(イ) 地域内外の住民との交流・移住促進

■ 連携施策：圏域内への移住・定住の促進


事務事業名	移住促進連携					
連携市町	全市町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 岡山市移住・定住支援協議会を活用した共同取組の実施 ● 移住相談会（東京）の共同実施 ● 移住先下見ツアーの共同実施 ● 東京へのサテライト移住相談窓口の共同設置の研究 					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 圏域への移住人口の増加につながる。 ● 圏域の知名度を向上させることにつながる。 					
工程及び事業費（見込額）	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	23,940千円	26,000千円	26,000千円	26,000千円	26,000千円	127,940千円
						
	※H28年度から実施					
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会、下見ツアー等の実施及び取りまとめ ・連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・相談会、下見ツアー等の実施 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標（KPI）	指 標	基準値		目標値		
	圏域内市町の5年間の転入超過者数	663人（累計） （平成23～27年度）		700人（累計） （平成28～32年度）		

(ウ) その他、結びつきやネットワークの強化に係る連携

■ 連携施策：公共施設の最適化

事務事業名	公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築					
連携市町	玉野市、備前市、赤磐市、久米南町					
事業内容	公共施設最適化研究会での圏域内施設の状況の見える化					
見込まれる効果	<ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設の質・量の適正化につながる。 ● 公共施設の維持管理経費の縮減が期待できる。 					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	実施					
	0千円	－千円	－千円			0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設最適化研究会の開催 ・ 連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究会への参加 ・ 岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	圏域内施設状況の把握		－		公表 (平成31年度)	

事務事業名	公共施設の相互利用の仕組み構築					
連携市町	玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、和気町、久米南町、美咲町、吉備中央町					
事業内容	公共施設最適化研究会での公共施設の相互利用の仕組みの構築					
見込まれる効果	公共施設の利便性向上による利用促進につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	協議	→ 方針決定		実施	→	
	0千円	－千円	－千円	－千円	－千円	0千円
岡山市の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設最適化研究会の開催 ・連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町の役割・費用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会への参加 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	方針の決定		－		方針の決定	

事務事業名	図書館相互利用					
連携市町	玉野市、備前市、赤磐市、真庭市、和気町、早島町、美咲町、吉備中央町					
事業内容	関係市町住民への図書館資料の貸出等のサービス提供					
見込まれる効果	図書館の利便性向上による利用促進につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	実施					
	1,100千円	860千円	860千円	860千円	860千円	4,540千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・担当国会議の開催、利用実績等のとりまとめ ・相互利用による貸出等の実施、調整及び広報 ・連携市町と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・担当国会議への参加 ・相互利用による貸出等の実施及び広報 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標		基準値		目標値	
	住民一人あたりの 年間貸出冊数		5.9冊 (平成27年度)		6.0冊 (平成33年度)	

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(ア) 圏域内市町村の職員等の交流

■ 連携施策：圏域内市町の職員の育成

事務事業名	人事交流・育成					
連携市町	津山市、玉野市、総社市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、美咲町、吉備中央町					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 職員派遣（相互交流等）の実施 ● 職員研修による交流 					
見込まれる効果	職員の資質の向上につながる。					
工程及び事業費 (見込額)	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	計
	1,158千円	1,158千円	1,158千円	1,158千円	1,158千円	5,790千円
岡山市の 役割・費用 負担	<ul style="list-style-type: none"> ・人事交流に関する連携市町との個別協議 ・職員研修の実施 ・必要な費用を負担する。 					
連携市町 の役割・費 用負担	<ul style="list-style-type: none"> ・人事交流に関する岡山市との協議 ・職員研修への参加 ・岡山市等と協議の上、必要に応じて費用を負担する。 					
重要業績 評価指標 (KPI)	指 標	基準値			目標値	
	圏域内市町職員を対象とする研修実施回数	—			5回／年 (平成29～33年度)	

岡山連携中枢都市圏ビジョン

平成29年(2017年)3月策定

岡山市政策局政策企画課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

TEL 086-803-1040/FAX 086-803-1732

http://www.city.okayama.jp/kikaku/kikaku_00295.html